

分野横断的公募事業の紹介

(大学・研究機関/スタートアップ/中小企業向け事業)

2023年11月

資料内対象事業者の色凡例

- 主に大学・研究機関
- 主にスタートアップ
- 主に中小企業

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
関西支部

NEDOとは



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

NEDO (New Energy and Industrial Technology Development Organization)

- 日本最大級の公的研究開発マネジメント機関
・経済産業省所管 ・職員数 1464名 (2023年4月1日現在)
- NEDOのミッション
・エネルギー・地球環境問題の解決 ・産業技術力の強化

NEDOにおける研究開発事業の概要

ナショナルプロジェクト

- エネルギーシステム分野
エネルギーシステム技術、再生可能エネルギー技術 等
- 省エネルギー・環境分野
省エネルギー技術、次世代火力・CCUS技術、環境・省資源技術 等
- 産業技術分野
ロボット・AI技術、IoT・電子・情報技術、ものづくり技術、
材料・ナノテクノロジー、バイオテクノロジー 等

特定公募型研究開発

- ムーンショット型研究開発事業
- ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業
- グリーンイノベーション基金事業 等

次世代プロジェクトシーズ発掘事業

- NEDO先導研究プログラム
- 官民による若手研究者発掘支援事業

研究開発プロジェクト(ナショナルプロジェクト等)の創出

スタートアップ支援等事業

- ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業
- デープテック・スタートアップ支援事業
- スタートアップ支援人材育成プログラム
- 大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業

研究開発成果の実用化・事業化支援

- 新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業
- 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム
- SBIR推進プログラム

- 国際共同研究開発

シーズ発掘から事業化までシームレスに支援を行うNEDOのプラットフォーム



P14～ 研究開発成果の実用化・事業化支援事業

中堅・中小企業等

スタートアップ

- 新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業
- 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム
- SBIR推進プログラム (SBIR)

P2～ 次世代プロジェクトシーズ発掘事業

- 官民による若手研究者発掘支援事業
- 先導研究プログラム/新技術先導研究プログラム
- 先導研究プログラム/未踏チャレンジ

大学等の研究者

企業等

P17 国際共同研究開発

スタートアップ

中小企業

事業化

死の谷

P7～ スタートアップ支援等事業

スタートアップ

- ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業 (NEP) 開拓コース、躍進コース
- ディープテック・スタートアップ支援事業 (DTSU) STSフェーズ、PCAフェーズ、DMPフェーズ
- 高度専門産業支援人材育成プログラム (SSA)
- 大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業 (MPM)

P18～ マッチング支援事業

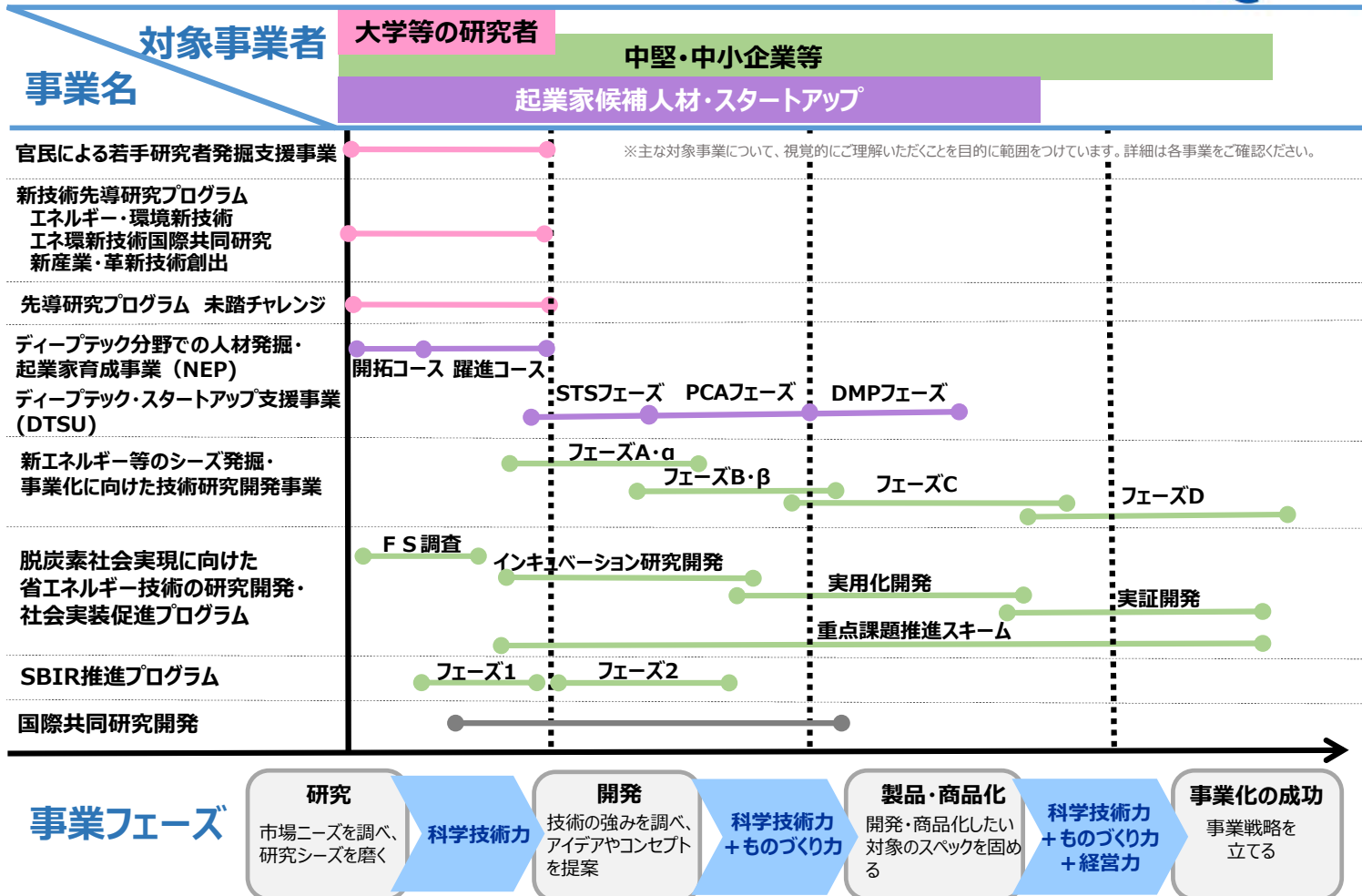
金融マッチング
シリコンバレー研修
K-NIC
ビジネスマッチング

スタートアップ

中堅・中小企業

※「中堅・中小企業」「大学等」「スタートアップ」アイコンは、視覚的分類を目的につけており、事業によっては、応募対象を制限しているとは限りません。詳細は各事業をご確認ください。

自社に合ったフェーズ・性質の事業をご検討ください



■ 次世代プロジェクトシーズ発掘事業



アカデミアのみなさん ニーズあります
産業界のみなさん シーズあります

NEDO connectでは、産学連携に関心があるアカデミア・産業界両方のみなさまにお届けしたい情報を掲載しています。
NEDO先導研究プログラム(新技術先導研究プログラム、未踏チャレンジ)、官民による若手研究者発掘支援事業(若サポ)など、テーマ公募型研究開発を活用して技術の社会実装を目指しませんか?ぜひNEDO事業をご活用ください!

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100189.html



官民による若手研究者発掘支援事業 公募終了

・・・P.3

企業との共同研究等を志向する若手研究者を支援

問い合わせ先：新領域ムーンショット部 E-MAIL：wakate-contact@nedo.go.jp

実施期間：2020年度から2027年度まで実施予定 スタートアップ支援型は2023年度のみ

NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム 公募終了

・・・P.4

エネルギー・環境新技術先導研究プログラム

エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発

新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム

将来の国家プロジェクトになり得る革新的な技術シーズの発掘

問い合わせ先：新領域ムーンショット部 E-MAIL：enekan@nedo.go.jp

(国際共同研究開発 国際部 E-MAIL：shinkakushin@ml.nedo.go.jp)

実施期間：エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 2014年度から実施

エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発 2023年度から実施

新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム 2023年度から実施

NEDO先導研究プログラム／未踏チャレンジ 公募終了

・・・P.5

従来の発想によらない革新的な脱炭素技術シーズを探索・創出

問い合わせ先：新領域ムーンショット部 E-MAIL：mitou@nedo.go.jp

実施期間：2023年度から実施

次世代のイノベーションを担う人材の育成、我が国における新産業の創出に貢献

官民による若手研究者発掘支援事業

実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う大学等※1に所属する若手研究者※2を発掘し、若手研究者と企業との共同研究等の形成を促進する等の支援を実施します。

■事業スキーム

	共同研究フェーズ	マッチングサポートフェーズ
対象者	大学等に所属する若手研究者（助成金の交付先は、若手研究者が所属する大学等）	
事業形態	助成	
費用	1テーマあたり3千万円以内/年 （共同研究等を実施する企業から支払われる共同研究等費用と同額以下）	1テーマあたり1千万円以内/年
事業期間	最大3年	最大2年（助成金は原則、最初の1年間に對してのみ交付）
対象技術分野	経済産業省所管の鉱工業技術（例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等。但し、原子力技術に係るものは除く）に基づいた、産業技術分野及びエネルギー・環境分野での実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究。但し、医薬・創薬分野、医療機器分野での実用化に事業目的を限定した研究開発は対象外。	

※1 大学等：国立研究機関、国立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、並びに国立研究開発法人、独立行政法人、地方独立行政法人及びこれらに準ずる機関

※2 若手研究者：主任研究者（大学等に在籍する研究者で、助成事業の開始年度の4月1日時点において、博士号の学位の取得者であり、かつ45歳未満）及び登録研究員（大学等に在籍する研究者又は学生で、助成事業の開始年度の4月1日時点において、博士号の学位を取得又は研究開発能力を有していることを所属部署等の長から認められた者であり、かつ45歳未満）

（※ライフイベントに係る研究機会喪失に係る対応：出産・育児・介護により研究に専念できない期間があった者については年齢制限を50歳未満とする等）

■公募情報

	公募期間
第1回	2020年 6月23日～2020年 8月17日
第2回	2020年12月28日～2021年 2月 5日
第3回	2021年 8月31日～2021年10月25日
第4回	2022年 3月28日～2022年 5月16日
第5回	2023年02月06日～2023年04月11日

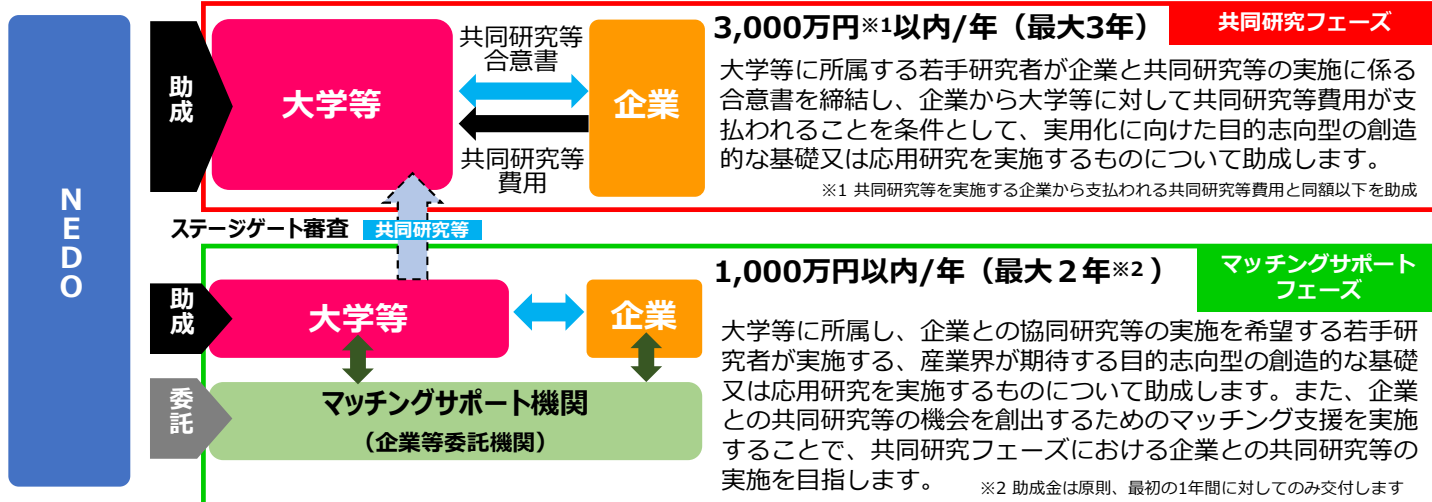
■事業紹介

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100166.html

マッチング支援（マッチングサポートフェーズ）

1. 若手研究者の技術シーズの発信に対する支援
2. 企業の関心事項の収集
3. 産学連携に関する知見習得のための支援

■事業概要図



■若手研究者産学連携プラットフォーム

<https://wakasapo.nedo.go.jp>

マッチングサポートフェーズの若手研究者の研究シーズを専用サイトでご紹介しております。カテゴリ・エリアから研究シーズを検索していただけます。



NEDO 若手研究者

検索

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100166.html

将来の国家プロジェクトになり得る革新的な技術シーズの発掘・育成

NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム

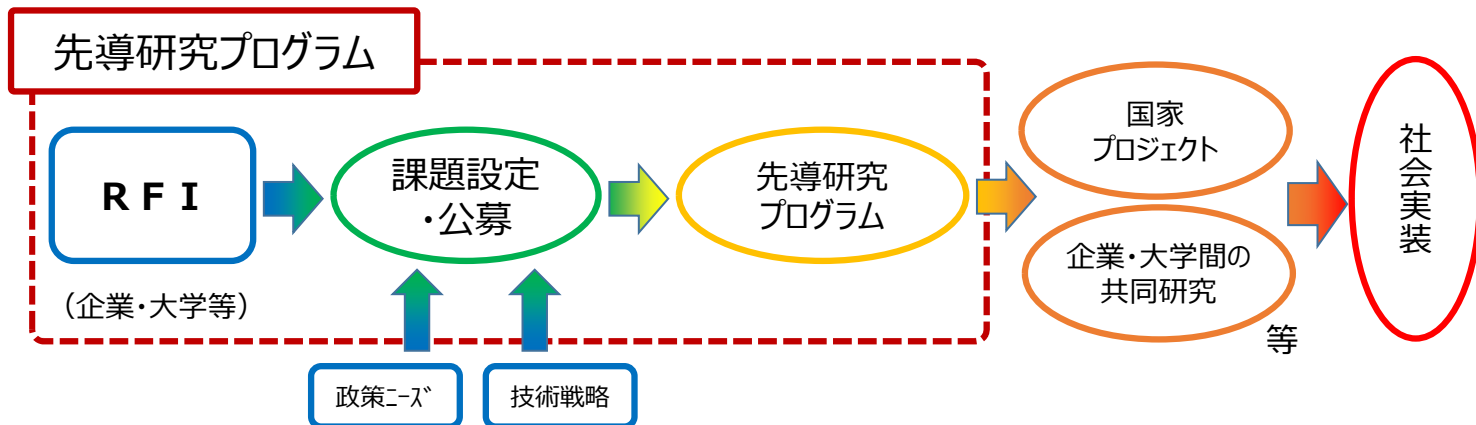
脱炭素社会の実現や新産業の創出に向けて、2040年以降（先導研究開始から15年以上先）の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、将来の国家プロジェクト等につなげていきます。

プログラム	エネルギー・環境新技術先導研究プログラム	
実施体制	企業、大学等による産学連携体制（大学・公的研究機関等のみは不可）	
事業形態	委託（NEDO100%負担）	
委託金額上限/件	1年目：1億円以内 2年目：5千万円以内 3年目：5千万円以内（中間評価の結果による）	
事業期間	最長3年間 2年目に中間評価	
対象技術分野	省エネルギー、新エネルギー、CO2削減等のエネルギー・環境分野	

プログラム	エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発	
実施体制	産学連携体制／大学・公的研究機関等による海外機関との共同研究	
事業形態	委託（NEDO100%負担）	
委託金額上限/件	初年度：2.5千万円以内 2年度：5千万円以内 3年度：5千万円以内（中間評価の結果による） 4年度：2.5千万円以内（中間評価の結果による）	
事業期間	最長3年間 2年目に中間評価	
対象技術分野	省エネルギー、新エネルギー、CO2削減等のエネルギー・環境分野 海外機関との共同研究による提案が前提	

プログラム	新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム	
	2022年度までの「新産業創出新技術先導研究プログラム」及び「マテリアル・バイオ革新技術先導研究プログラム」を2023年度より本事業に統合	
実施体制	企業、大学等による産学連携体制	大学・公的研究機関等のみ（産学連携体制の例外※1）
事業形態	委託（NEDO100%負担）	
委託金額上限/件	1年目：1億円以内 2年目：5千万円以内 3年目：5千万円以内（中間評価の結果による）	2千万円以内
事業期間	最長3年間 2年目に中間評価	最長1年間
対象技術分野	新産業創出に結びつく産業技術分野	

※1 産学連携体制の例外・・・将来的に産学連携となる研究開発体制の具体的な想定があり、かつ、少なくとも現時点で連携先となる企業を模索する具体的な取り組みが行われていることを前提とします。



NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム 過去の予算額と公募情報

2019年度	予算 : 37.4億円 (内数)	◆エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 採択44件/応募110件 (2.5倍)
	7.9億円 (内数)	◆新産業創出新技術先導研究プログラム 採択6件/応募16件 (2.7倍)
2020年度	予算 : 39.5億円 (内数)	◆エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 第1回 採択29件/応募60件 (2.1倍)
	9.5億円 (内数)	◆新産業創出新技術先導研究プログラム 第2回 採択21件/応募74件 (3.5倍)
2021年度	予算 : 39.5億円 (内数)	◆エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 採択28件/応募73件 (2.6倍) 2020年12月25日～2月12日
	9.4億円 (内数)	◆新産業創出新技術先導研究プログラム 採択4件/応募41件 (10.3倍) 2020年12月25日～2月12日
		◆マテリアル革新技術先導研究プログラム 採択8件/応募61件 (7.6倍) 2021年02月10日～3月26日
2022年度	予算 : 43.01億円 (内数)	◆エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 採択20件/応募77件 (3.9倍) 2021年12月28日～2022年2月16日
	9.1億円 (内数)	◆新産業創出新技術先導研究プログラム 採択3件/応募31件 (10.3倍) 2021年12月28日～2022年2月16日
		◆マテリアル・バイオ革新技術先導研究プログラム 採択2件/応募46件 (23倍) 2022年1月28日～2022年3月14日
2023年度	予算 : 48.0億円 (内数)	◆エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 採択16件/応募75件 (4.7倍) ; 2022年12月27日～2023年2月15日
	19.2億円 (内数)	◆エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発 採択5件/応募17件(3.4倍) ; 2023年1月27日～3月27日
		◆新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム 採択9件/応募64件 (7.1倍) ; 2022年12月27日～2023年2月15日

○NEDO先導研究プログラムの事業の詳細、採択結果等は、以下でご確認いただけます。

NEDOホームページ> 事業紹介> 分野横断的公募事業→NEDO先導研究プログラム（エネルギー・環境新技術先導研究プログラム、新産業創出新技術先導研究プログラム／マテリアル・バイオ革新技術先導研究プログラム／未踏チャレンジ2050）

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100100.html

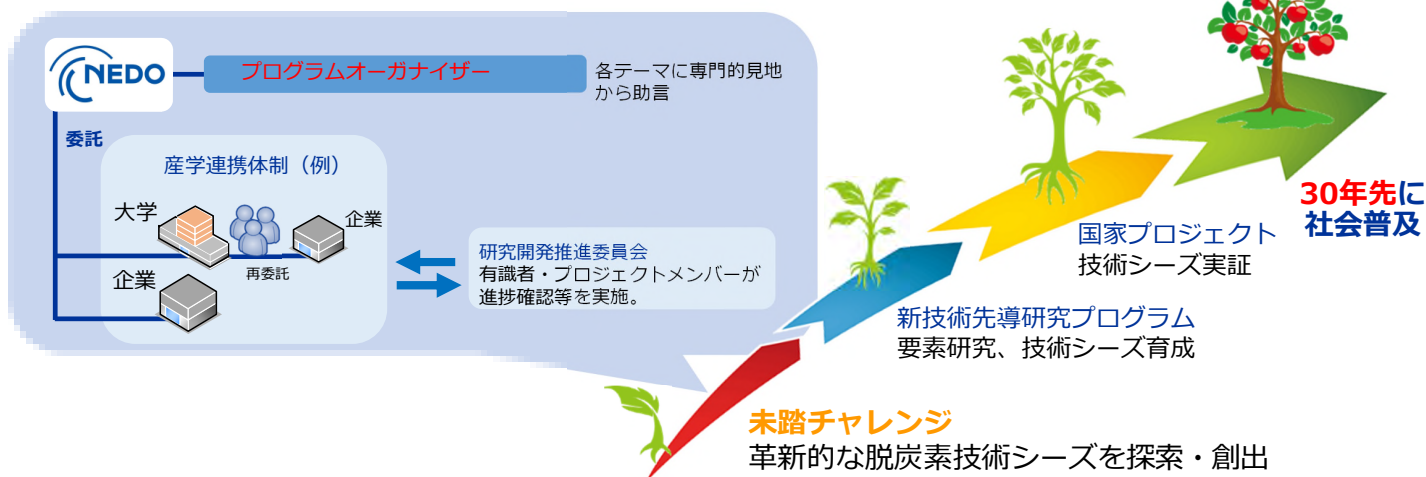


従来の発想によらない革新的な脱炭素技術シーズを探索・創出

NEDO先導研究プログラム／未踏チャレンジ

脱炭素社会の実現に向けて、事業開始後30年先の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげます。

対象者	産学連携体制／大学・公的研究機関等のみ ※年齢制限は無し（長期的に研究継続が可能な研究体制は必要）
事業形態	委託（NEDO100%負担）
委託金額上限/件	5百～2千万円程度/年
事業期間	最長5年間 ※2～3年目に中間評価
対象技術分野	省エネルギー、新エネルギー、CO2削減等のエネルギー・環境分野 ＜公募ごとに分野を指定した上で、解決すべき技術課題とそれを解決する研究開発内容を募集＞



「NEDO先導研究プログラム／未踏チャレンジ2050」予算額と公募情報

2017年度	予算 : 0.8億円	公募期間	2017年05月31日～7月18日	採択 8件/応募32件 (4.0倍)
2018年度	予算 : 2.0億円	公募期間	2018年05月28日～7月12日	採択 4件/応募22件 (5.5倍)
2019年度	予算 : 1.8億円	公募期間	2019年05月24日～7月12日	採択 9件/応募33件 (3.7倍)
2020年度	予算 : 0.8億円	公募期間	2020年04月24日～6月30日	採択 8件/応募40件 (5.0倍)
2021年度	予算 : 1.0億円	公募期間	2021年04月27日～6月30日	採択 7件/応募38件 (5.4倍)
2022年度	予算 : 0.8億円	公募期間	2022年03月28日～5月23日	採択 8件/応募38件 (4.8倍)

「NEDO先導研究プログラム／未踏チャレンジ」予算額と公募情報

2023年度	予算 : 1.0億円	公募期間	2023年02月1日～4月3日	採択7件/応募93件 (13.3倍)
--------	------------	------	-----------------	--------------------



「NEDO先導研究プログラム」のパンフレットを発行しています。

NEDOホームページ

ホーム>刊行物・資料>パンフレット>分野横断的公募事業

>NEDO先導研究プログラム に掲載しています。(PDFをダウンロードし参照いただけます。)

http://www.nedo.go.jp/library/pamphlets/ZZ_pamphlets_00005.html

2023年度公募研究開発テーマの対象研究領域：
<https://www.nedo.go.jp/content/100955085.pdf>

- 研究領域A:次世代省エネエレクトロニクス
- 研究領域B:環境改善志向次世代センシング
- 研究領域C:導電材料・エネルギー変換材料
- 研究領域D:未来構造・機能材料
- 研究領域E:CO2 有効活用

●事業ページ



●パンフレット



■ スタートアップ支援等事業

スタートアップ支援等事業の全体像

・・・P.7

公募終了

ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業（NEP）

・・・P.8

実施期間：2023年度から2027年度までの5年間（予定）

問い合わせ先：イノベーション推進部NEP事務局

E-MAIL：NEP@nedo.go.jp

「開拓コース」「躍進コース」の2コースを展開

通年公募

ディープテック・スタートアップ支援事業（DTSU）

・・・P.10

技術の確立や事業化・社会実装までに長期の研究開発と大規模な資金を要する

「ディープテック・スタートアップ」への支援

実施期間：2023年度から2034年度（ただし、新規採択は2023年度から2027年度の5年間のみ実施）

問い合わせ先：イノベーション推進部DTSU事務局

E-MAIL：dtsu@nedo.go.jp

公募終了

スタートアップ支援人材育成プログラム（SSA）

・・・P.11

研究開発型スタートアップ支援の中核的な役割を担う、「支援人材」を輩出

問い合わせ先：イノベーション推進部 スタートアップグループ

E-MAIL：tech-ssa@nedo.go.jp

公募終了

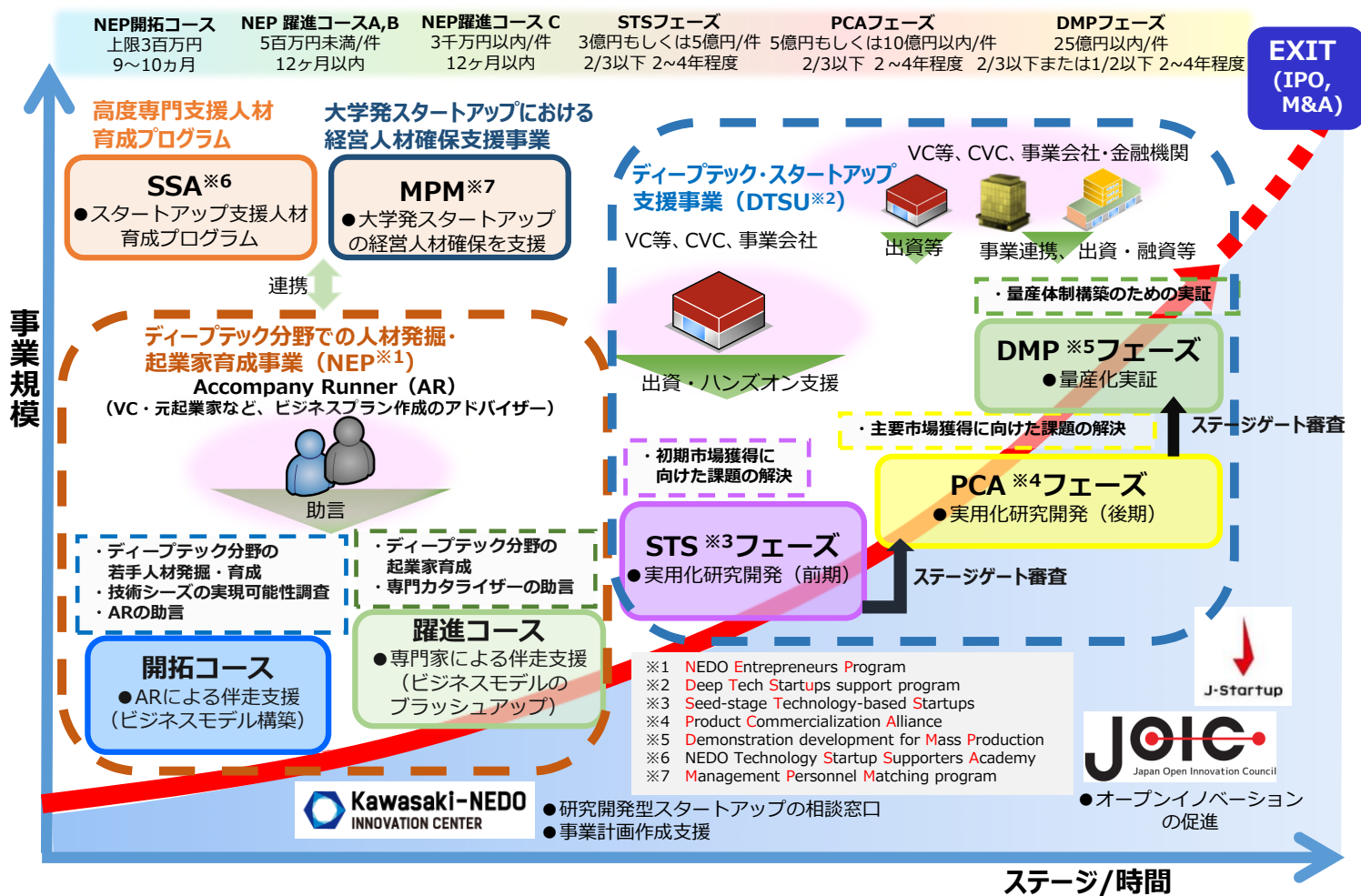
大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業（MPM）

・・・P.12

研究開発型大学発スタートアップの経営人材確保を支援

問い合わせ先：イノベーション推進部 スタートアップグループ

E-MAIL：MPM@nedo.go.jp



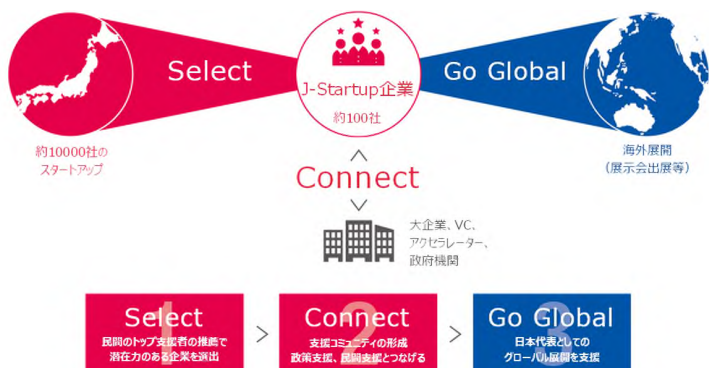
日本のスタートアップに次の成長を。
 世界に次の革新を。



公式ホームページは「J-Startup」で検索！(スマホ対応)
 公式Facebookページで随時情報発信中！！

J-Startup

<https://www.j-startup.go.jp/>



日本では約1万社のスタートアップが日々新しい挑戦をしています。
 しかし、グローバルに活躍する企業はまだ一部。

世界で戦い勝てる企業を作り、世界に新しい革新を提供する。
 J-Startupは選ばれた企業を官民で集中支援し、成功モデルを創出します。

「ブーム」から「カルチャー」へ。

ここで生まれたヒーローがスタートアップの地位を高め、
 日本のベンチャーエコシステムをさらに強くします。

今まで選定されたスタートアップ188社に加え、2023年4月、新たに50社が選定されました。
 経済産業省、JETROと共にNEDOも事務局を担っています。
 詳細は公式ホームページをご確認ください。

ディープテック分野での人材発掘・ 起業家育成事業（NEP）開拓コース

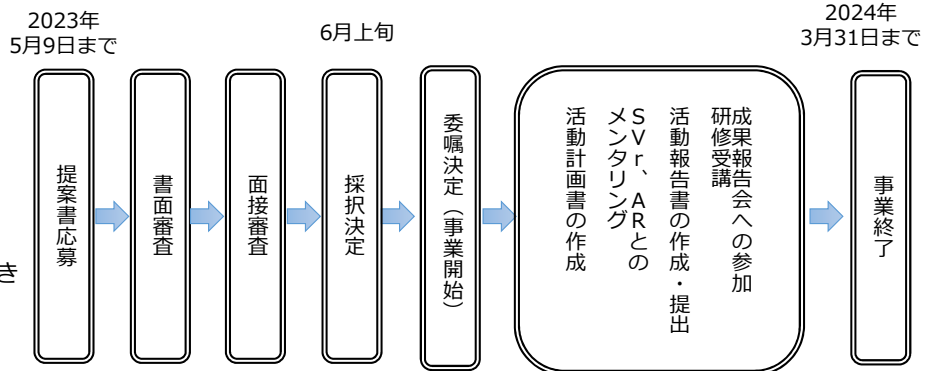
ディープテック分野での技術シーズを活用したアイデアの実現可能性調査を行う起業家候補人材「NEDO Front-Runner (FR)」を募集

対象者	起業前の個人（チームでも可）※応募者の年齢に応じて加点措置有り
活動内容	自ら起業することも視野に入れながら、技術シーズを活用したアイデアの実現可能性に関する調査 «例» ・技術シーズの活用方法に関する探索活動 ・技術シーズの深化のための研究開発 ・アイデアを基にしたビジネスモデル作成、市場調査、試作品の製作 等の活動
活動費	月額30万円（税込み）[上限：300万円迄] 調査活動において自らが必要と判断した経費（研究開発費、旅費・交通費、資料購入費等）
事業期間	NEDOが指定する日から2024年3月31日まで（10か月程度）
対象技術分野	ディープテック分野（人工知能、ロボット、宇宙航空、エネルギー、ナノテク・材料、ライフサイエンス、IoT等であって、原子力を除く）

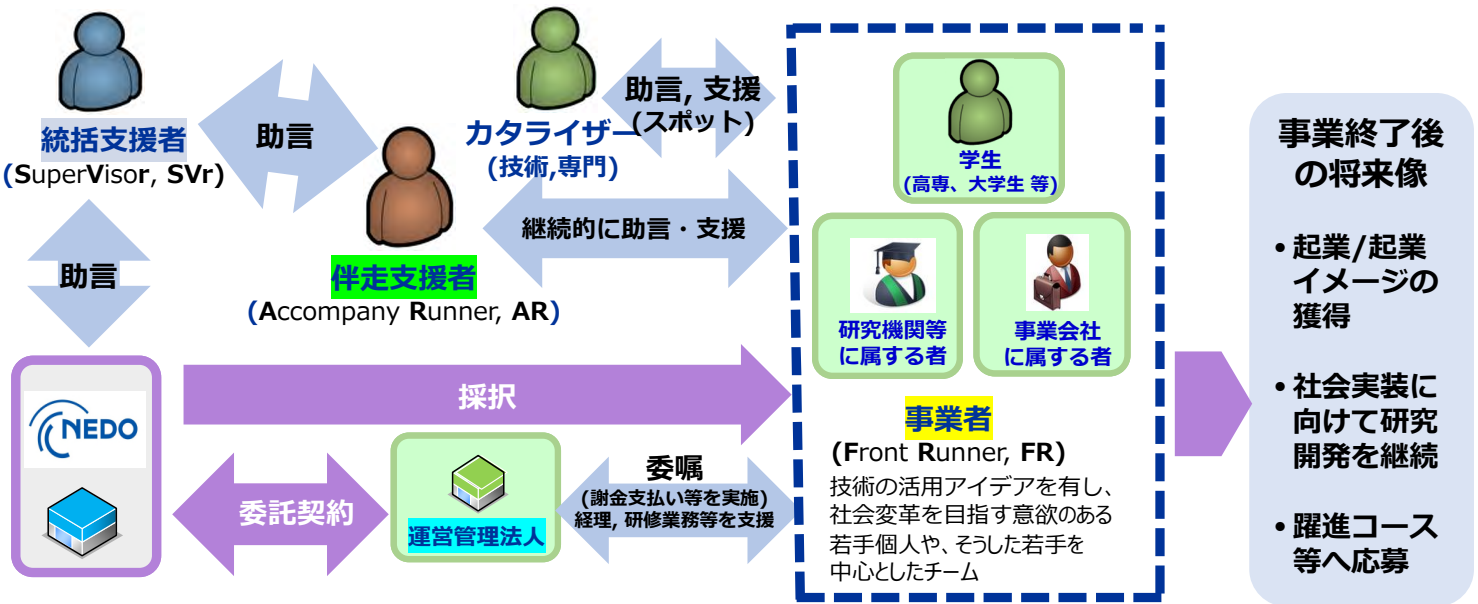
NEP開拓コースの流れ

2023年

- 3月20日 : 公募開始
- 5月9日正午 : 公募締め切り
- 5月中旬 : 書面審査
- 5月中旬～5月下旬 : 面接審査（選考委員会）
- 6月上旬 : 採択者の決定
- 6月上旬～6月中旬 : 運営管理法人より委嘱手続き
- 6月下旬 : 事業開始



NEP開拓コース実施体制 全体フロー



<事業者(FR)の業務>

- アイデアの実現可能性調査活動、活動報告(毎月)
- 活動計画書、成果報告書の作成(各1回)
- 研修・イベント・報告会への参加 等

<伴走支援者(AR)の役割・業務>

- FRが行う活動に対して、ハンズオンの指導・助言(毎月)
- 壁打ち役としてのアドバイス
- 潜在顧客等への訪問やヒアリングをアレンジ 等

<統括支援者(SVr)の役割・業務>

- 採択者候補の選定に対する補佐、助言
- 報告会等におけるFRやARへの助言
- 諸研修における講演
- 事業全体のあり方をNEDOに助言・提言 等

<運営管理法人の役割・業務>

- 活動報告書の収集、管理
- FRへの活動費支払い 等

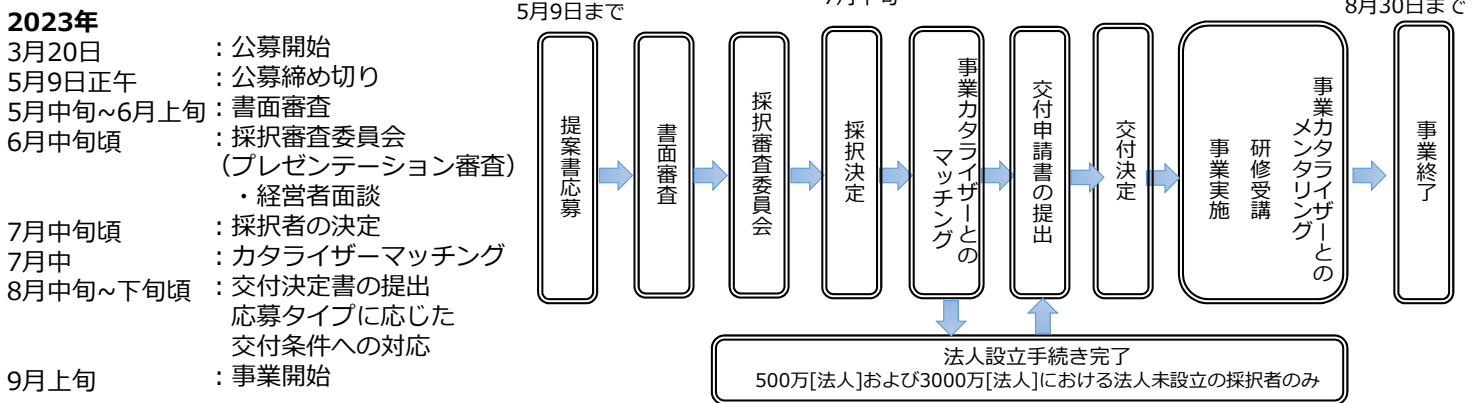
ディープテック分野での人材発掘・ 起業家育成事業（NEP） 躍進コース

起業前後の個人・法人

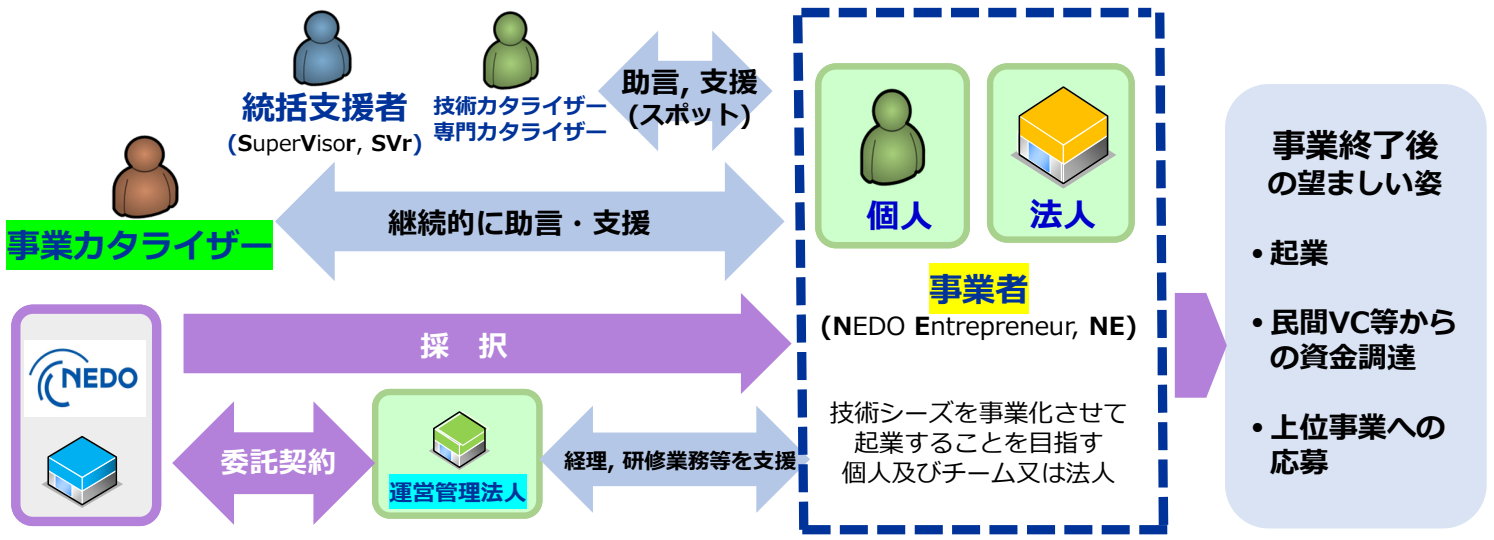
ディープテック分野で具体的な技術シーズを活用したビジネスモデルを有する起業家候補人材を公募

対象者	起業前の個人・チーム	法人(応募時は個人 可。事業開始時は法人設立)	
コース	躍進A	躍進B	躍進C
活動内容	事業化可能性の調査 事業化促進に向けた研究開発、実証 (ビジネスモデルのブラッシュアップ、市場調査、試作品の設計および製作 等)		
助成金額	500万円未満 (※税込み)	※課税事業者が消費税仕入税額控除適用の場合は(税抜き) [自己負担]	3千万円以内(※税込み)
事業期間	12か月以内 (NEDOが指定する日から2024年8月末まで)		
対象技術分野	ディープテック分野 (人工知能、ロボット、宇宙航空、エネルギー、ナノテク・材料、ライフサイエンス、IoT等であって、原子力を除く)		

NEP躍進コースの流れ



NEP躍進コース実施体制 全体フロー



< 事業カタライザーの役割・業務 >

- 採択者のビジネスモデルのブラッシュアップに対する助言
- 起業・VC等からの資金調達に向けた助言
- 採択者にとって有益な外部人材の紹介
- 想定顧客や技術シーズを活用できる想定現場へのコンタクト

躍進A

< 運営管理法人の役割・業務 >

- 事業者の進捗管理
- 経理業務に対する支援・管理等の実施
※経費の支払い(立替え)を含む
- 検査対応に関する支援
- 研修実施における会場の確保・設営・周知
- 確定検査の準備及び検査対応に関する支援

< 事業者(NE)の業務 >

- 研究開発、ビジネスモデルのブラッシュアップ
- 発注・納品・検収対応
- 検査対応
- 事業終了後NEDOへ報告

躍進B

< 運営管理法人の役割・業務 >

- 事業者の進捗管理
- 中間検査及び概算払等に係る書類作成支援
- 上記2項目に係る付帯経理業務
- 研修実施における会場の確保・設営・周知
- 確定検査に係る書類作成支援

< 事業者(NE)の業務 >

- 研究開発
- 発注・納品・検収・支払い対応
- 検査対応
- 事業終了後のNEDOへ報告

躍進C

ディープテック・スタートアップ支援事業 (DTSU)

技術の確立迄の研究開発に長期かつ大規模な資金を要し技術の事業化までに長期間を要するディープテック・スタートアップの実用化研究開発フェーズ、量産化実証フェーズを支援します

フェーズ	STSフェーズ 実用化研究開発(前期)	PCAフェーズ 実用化研究開発(後期)	DMPフェーズ 量産化試作実証
支援対象	要素技術の研究開発や試作品の開発等に加え、事業化に向けた技術開発の方向性を決めるための事業化可能性調査の実施等	試作品の開発や初期の生産技術開発等に加え、主要市場獲得に向けた事業化可能性調査の実施等	量産技術の確立・実証に係る研究開発やそのために必要な生産設備・検査設備等の設計・製作・購入・導入・運用等を通じ、商用化に至るために必要な量産化実証の実施
対象技術分野	経済産業省所管の鉱工業技術（ただし、原子力技術、医薬品開発及び再生医療等製品に係るものは除く）		
助成率	2/3以下	2/3以下	2/3以下もしくは1/2以下※③
助成金額	3億円もしくは5億円※①	5億円もしくは10億円※①	25億円
事業期間	1.5～2年程度（ただし同一フェーズ内で最長4年）		
公募期間	公募は通年で実施し、年4回程度、提案受付期間の設定及び審査の実施を予定		
主な要件 (詳細は公募要領参照のこと)	中小企業基本法等に定める中小企業（みなし大企業等を除く。ただしJ-Startup企業は一定条件下で可） 設立から一定年数以内（STS/PCA 10年以内、DMP15年以内。例外有）		
	<ul style="list-style-type: none"> 1社以上のVC等やCVC、事業会社から助成対象費用の1/3以上の出資※②が、所定期間※④内に実行されること このうち、最大の金額や株式持分比率で出資を行う者は、VC等、CVCのいずれかとする 等 	<ul style="list-style-type: none"> 1社以上のVC等やCVC、事業会社から助成対象費用の1/3以上の出資※②が、所定期間※④内に実行されること VC等またはCVCが株主構成に含まれていること、あるいは所定期間内に含まれること 等 	<ul style="list-style-type: none"> 1社以上のVC等やCVC、事業会社からの出資※②、金融機関からの融資の合計が、助成対象費用の1/3or1/2以上であり、所定期間※④内に実行されること VC等またはCVCが株主構成に含まれていること、あるいは所定期間内に含まれること 事業化に向けて、連携先との間で取り交わした量産化実証、共同研究、調達、販路開拓等の覚書等提出 等

※①：事業化連携に係る連携先の関心表明書や海外技術実証に係る計画書を提出することできる場合、上限額の引き上げが可能。

※②：出資には、株式に転換可能な新株予約権やコンバーティブルエクイティを含む。また融資には、新株予約権が付いた金融負債である、転換社債型新株予約権付社債等を含む。

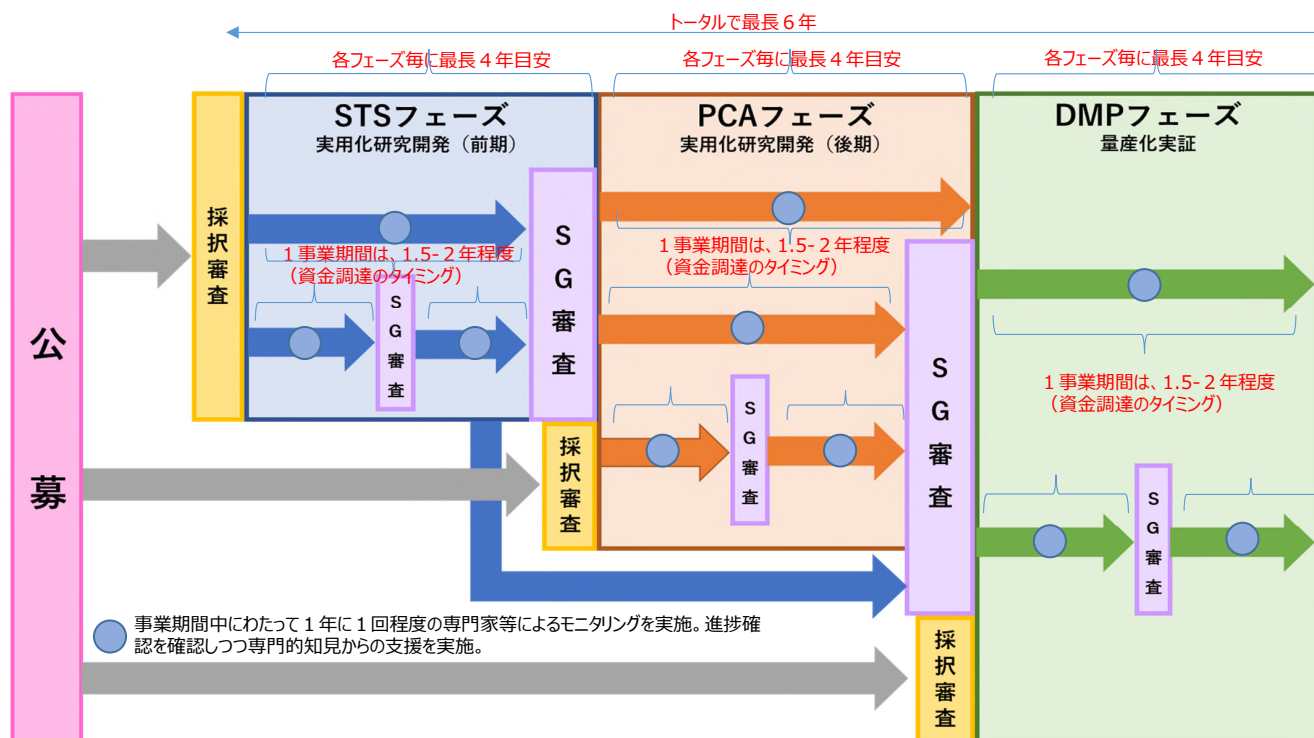
※③：本事業への応募に必要な出資及び融資の合計額に占める融資の合計額の割合が1/2以上の場合、助成率を1/2以下とする

※④：提案締切日の3ヶ月前から採択決定日の1ヶ月後までを基準として、NEDOが別途定める期間

ディープテック・スタートアップ支援事業の流れ

- ・いずれのフェーズからも申請可能。ただし、1提案者につき最も自社に適合するフェーズ1つにのみ応募可能。
- ・1事業期間は1.5-2年程度が目安（資金調達のタイミングに応じて設定）。ステージゲート審査を経ることで、次のフェーズも連続的に実施可能。フェーズを跨ぐ場合、事業期間上限6年、助成金額上限30億円とする。
- ・公募は、2023年度-2027年度の5年間実施予定。通年公募とし、年4回程度審査を実施予定。

※研究開発の途中段階であっても、ステージゲート審査の結果により、実施内容の見直しや、本事業による研究開発への支援を中止する場合あり。



研究開発型スタートアップ支援の中核的な役割を担う、「支援人材」を輩出 スタートアップ支援人材育成プログラム (SSA)

広い知見や専門性を持って、研究開発型スタートアップの成長を伴走支援できる人材の育成を行う
スタートアップ支援人材育成プログラム「NEDO Technology Startup Supporters Academy (SSA)」を実施します。

対象者	イノベーションの担い手である研究開発型スタートアップの創出支援の現場をリードしていく支援人材、または支援キャリアを目指そうとする若手支援者候補など
対象者例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国大学の産学連携・知財本部などのシーズの社会実装や事業化に従事もしくは関心のある関連教職員、URA、コーディネーター、TLO役職員、ポスドク等 ○ イノベーション・モノづくり支援等を担う自治体部局や公的産業支援機関の担当職員、インキュベーションマネージャー、コーディネーター ○ 民間企業にてオープンイノベーションや社内発のカーブアウト、スピノフベンチャー創出、CVC活動など、スタートアップ支援に関する専門性・キャリアを高めた関係部局の担当者 ○ VC等で、各地の研究機関や公的機関と連携し、シード段階から積極的に技術の目利きや掘り起こしを行い、研究開発型SU等の個社支援やハンズオン支援のスキル習得、専門性を志向するキャピタリスト ○ スタートアップ支援に関わる経験を通じて、将来的に起業や経営への参画を目指す者 ○ 上記に準ずる職能の者あるいはスタートアップ支援のキャリア形成を志す者 <p>※修了者例：https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100114.html</p>
目的	日本のスタートアップエコシステムの構築・発展を目的に、広い知見や専門性を持って客観的視点から先端の研究開発型スタートアップの発掘から成長までを伴走支援できる、「支援人材」を、産・学・官・公・民の横串で育成します
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 【1】 研究開発型スタートアップ支援に必要な、基本的な知識やスキルを身に付ける講義の提供 【2】 伴走型支援者としてのマインドを培う場の提供 【3】 NEDO事業者の支援現場での実践的なアウトプット機会の提供等
事業期間 (2023年度)	○公募終了：2023年8月8日～8月30日 ○受講期間：2023年10月～2024年2月頃（予定）

受講要件等

定員：40名程度

参加費：無料

(ただし、参加に係る交通費等の実費は自己負担)

選考：書面審査、面談により受講者を決定します。



後援機関等 (過去例)

(国研) 産業技術総合研究所 / (国研) 科学技術振興機構 / (国研) 理化学研究所
 (国研) 情報通信研究機構 / (国研) 日本医療研究開発機構 / (国研) 宇宙航空研究開発機構
 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 / (国研) 物質・材料研究機構 / (国研) 海洋研究開発機構
 (独) 日本貿易振興機構 / (独) 中小企業基盤整備機構 / (独) 情報処理推進機構
 (一財) ベンチャー・エンタープライズセンター / (一社) 日本ベンチャーキャピタル協会
 オープンイノベーション・ベンチャー創出協議会ほか

2017年度	募集期間：8/21～9/19	受講者数	25名/応募72名
2018年度	募集期間：8/21～9/20	受講者数	41名/応募85名
2019年度	募集期間：7/4～8/2	受講者数	31名/応募64名
2020/2021年度	募集無し		
2022年度	第1回 募集期間：3/11～3/31	受講者数	39名/応募93名
	第2回 募集期間：8/8～9/2	受講者数	39名/応募101名
2023年度	募集期間：8/8～8/30	受講者数	39名/応募85名

第一線で活躍するベンチャー・スタートアップやイノベーション等の有識者（研究者、実務家等）による研究開発型スタートアップの創出や支援について必要となる基本的な知識や考え方・方法論等に関する講義、ワークショップによる課題や論点のディスカッション、NEDOプログラムならではの起業者の“生”の支援現場を実践支援するOJT機会、それら特別な体験と希有な支援者ネットワークの構築など、充実したプログラムを提供します。



■ 研究開発型スタートアップの起業・経営人材確保等支援事業

研究開発型大学発スタートアップの経営人材確保を支援

VC等事業者

大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業（MPM）

「Management Personnel Matching program（MPM）」と称し、VC等が経営人材※を発掘・育成し、大学等※の技術シーズや大学発スタートアップ※とのマッチングを行うための取組を支援します。

対象者	経営人材とマッチングした大学発スタートアップの成長のために積極的に関わるVC等事業者 ※大学等や大学発スタートアップが直接応募できる事業ではありません。
目的	自らが起業またはスタートアップの経営者として参画することを志向する人材を発掘し、大学等の技術シーズ・大学発スタートアップとのマッチング等を実施していただくことで、大学発スタートアップの経営人材獲得ルートの多様化を目指します。
マッチング対象	日本国内の大学等の技術シーズを保有する者、及びそれらを基にした、経済産業省所管の鉱工業技術（例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、医療機器、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等。ただし、医薬・創薬、原子力技術に係るものは除く）に取り組む研究開発型大学発スタートアップ
業務内容	経営人材獲得ルートの多様化を目指す本業務目的に鑑み、下記①～④について、試行的な取組も含めて、最適かつ効果的に業務目的を達成できるように、バランスよく企画検討された実施内容とします。 ①経営人材の発掘・育成 ②経営人材と大学等の技術シーズ・大学発スタートアップのマッチング機会創出 ③経営人材として経営参画するための環境整備 ④取組内容及び実施結果等についての自己分析及び報告会等への参加
事業形態	委託（NEDO負担率：100%）
委託金額	2023年度事業：8,000万円以内/件・事業者（8事業者程度を採択予定）
対象経費	本業務を実施する際に必要な労務費、及びその他経費、間接経費、再委託費を計上することができます。（研究開発費は対象外） ただし、実施期間中に経営人材一人あたりに支払える労務費等は「1,000万円以内」※です。
実施期間	契約締結日から2025年3月31日まで（1.5年程度）

2023年度	公募期間：2023/4/18～2023/5/29	採択8件／応募21件
--------	--------------------------	------------

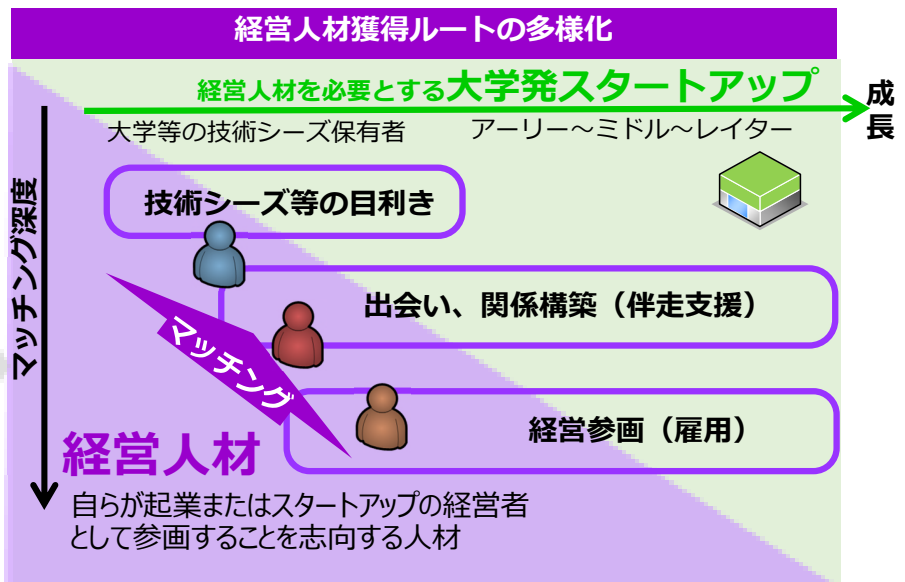
事業イメージ



経営人材とマッチングした大学発スタートアップの成長のために積極的に関わるVC等事業者

実施内容

- ① 経営人材の発掘・育成
- ② 経営人材と大学等の技術シーズ・大学発スタートアップのマッチング機会創出
- ③ 経営人材として経営参画するための環境整備
- ④ 取組内容及び実施結果等についての自己分析及び報告会等への参加



- ・「経営人材」とは、自らが起業またはスタートアップの経営者として参画することを志向する人材で、スタートアップの成長にとって不可欠なビジネス経験や知識等を有する人材であり、Chief Executive Officer（CEO）候補人材等を想定しますが、その役割を担える人材を広義に捉え、経営参画する強い意志がある人材、将来の経営を担うための経験や知識を習得している人材、さらに広義のChief Operating Officer（COO）、Chief Financial Officer（CFO）、Chief Technology Officer（CTO）等のいわゆるCXO人材等を含めます。
- ・大学等とは、日本国内の大学、高等専門学校、公的研究開発機関及びこれらに準ずる機関です。
- ・大学発スタートアップとは、大学等の技術シーズを基にした日本国内に登録されているスタートアップ（その事業活動に係る主たる技術開発及び意思決定のための拠点を日本国内に有するもの）とします。

その他、詳細については、当該公募事業の公募要領、仕様書等をご確認ください。

2023年度公募情報 https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100400.html

【2023年度事業 実施事業者】

大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社、京都大学イノベーションキャピタル株式会社、株式会社ケイエスピー、株式会社先端技術共創機構、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社、東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社、株式会社みらい創造機構、リアルテックホールディングス株式会社（五十音順）

■ 研究開発成果の実用化・事業化支援事業

第2回公募中

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業 ……P.14 再生可能エネルギー分野の事業化を目指した技術開発を支援

問い合わせ先：イノベーション推進部 プラットフォームグループ E-MAIL：venture-pfq@nedo.go.jp
実施期間：2007年度から実施

公募終了

脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム ……P.15 高い省エネルギー効果が見込まれる技術開発を支援

問い合わせ先：省エネルギー部「脱炭素省エネプログラム」事務局 E-MAIL：shouene@nedo.go.jp
実施期間：2021年度から2035年度まで15年間

公募終了

SBIR推進プログラム（Small Business Innovation Research） ……P.16 社会ニーズ・政策課題に基づく研究開発課題にチャレンジするスタートアップを支援

問い合わせ先：イノベーション推進部SBIR事務局 E-MAIL：sbir-r3@nedo.go.jp
実施期間：2021年度から実施

再生可能エネルギー分野の事業化を目指した技術開発を支援

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業

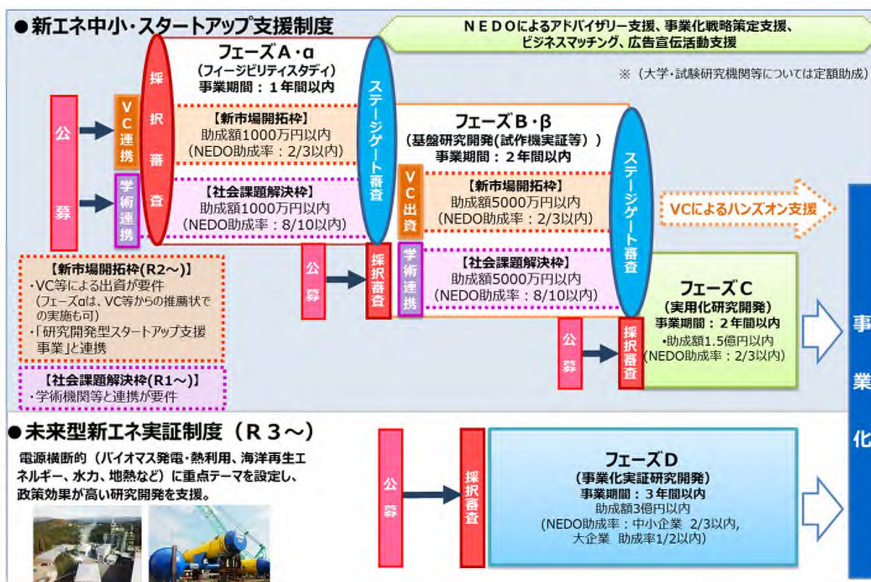
技術の事業化までのステップや事業化計画の進捗状況に合わせて、2つの制度（新エネ中小・スタートアップ支援制度、未来型新エネ実証制度）及び6つのフェーズ（社会課題解決枠フェーズA及びB、新市場開拓枠フェーズα及びβ、フェーズC、フェーズD）を設け、中小・スタートアップ企業等による再生可能エネルギー普及に資する事業のご提案を公募・選定し、事業化を見据えた技術開発支援を行います。

制度	新エネ中小・スタートアップ支援制度					未来型新エネ実証制度
対象者	中小企業等（フェーズA及びBは、学術機関等との連携体制による応募が必要）					国内で登記済の企業等
フェーズ	社会課題解決枠		新市場開拓枠		フェーズC (実用化研究開発)	フェーズD (事業化実証研究開発)
	フェーズA (FS)	フェーズB (基盤研究)	フェーズα (FS)	フェーズβ (基盤研究)		
各フェーズからの応募が可能	<ul style="list-style-type: none"> 技術開発や実用化の方向性を検討するためのフェジビリティ・スタディ(FS)を実施 NEDOが設定する研究開発課題に合致するテーマを実施 共同研究先に学術機関等を加えること 	<ul style="list-style-type: none"> 実用化に向けて必要となる基盤技術の研究を実施 NEDOが設定する研究開発課題に合致するテーマを実施 実施体制に学術機関等を加えること 	<ul style="list-style-type: none"> 技術開発や実用化の方向性を検討するためのフェジビリティ・スタディ(FS)を実施 VC等からの出資証明書類もしくは出資意向確認を提出すること 	<ul style="list-style-type: none"> 実用化に向けて必要となる基盤技術の研究を実施 VC等からの出資証明書類もしくは出資予定を示す書類を提出すること 	<ul style="list-style-type: none"> 事業化の可能性が高い基盤技術の事業化に向けて必要となる実用化技術の研究や実証研究等を実施 事業終了後、3年以内での実用化を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの大量導入における課題を解決しようとする実証事業を実施 NEDOが設定する技術実証課題に合致するテーマを実施 事業終了後、1年程度での実用化を目指す
事業形態 ※①	助成 NEDO助成率 8/10以内	助成 NEDO助成率 8/10以内	助成 NEDO助成率 2/3以内	助成 NEDO助成率 2/3以内	助成 NEDO助成率 2/3以内	助成 NEDO助成率 1/2、2/3以内
助成金額 上限/件	1千万円/件	5千万円/件	1千万円/件	5千万円/件	1.5億円/件	3億円/件
事業期間	1年以内	2年以内	1年以内	2年以内	2年以内	3年以内
対象技術	<ul style="list-style-type: none"> ●エネルギー基本計画、新成長戦略等に示される以下の分野 (1)太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス利用、太陽熱利用、その他未利用エネルギー分野 (2)再生可能エネルギーの普及、エネルギー源の多様化に資する新技術（燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等） 					地熱発電、バイオマス利用、その他未利用エネルギー分野

※①：学術機関等と共同研究を実施する場合、当該共同研究費については助成率を乗じない定額助成となります。ただし、上限があります。詳細は公募要領をご確認ください。

「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」 予算額と公募情報

年度	予算	公募
2019年度	19.0億円	(2/4~3/5) : 採択20件/応募52件 (2.6倍)
2020年度	18.8億円	第1回公募 : (3/18~5/15) : 採択 新規20件/応募35件 (1.75倍) 第2回公募 : (9/10~10/9) : 採択新規4件/応募10件 (2.5倍)
2021年度	20.8億円	第1回公募 : (3/29~5/6) : 採択 新規15件/応募32件 (2.13倍) 第2回公募 : (8/25~9/29) : 採択 新規7件/応募14件 (2倍)
2022年度	17.9億円	第1回公募 : (4/11~5/19) : 採択 新規5件/応募21件 (4.2倍) 第2回公募 : (7/13~9/5) : 採択 新規9件/応募17件 (1.9倍)
2023年度	17.8億円	第1回公募(新エネ中小・スタートアップ):採択 新規7件/応募25件 (3.6倍) 第2回公募(未来型新エネ実証制度 5/16~6/30):採択 新規1件/応募3件 (3.0倍) 第2回公募期間(新エネ中小・スタートアップ支援):9月6日~11月9日



● 事業ページ



https://www.nedo.go.jp/activities/CA_00251.html

革新的な省エネルギー技術の開発と共に、社会実装に向けた取り組みを支援
脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム

「省エネルギー技術戦略」（資源エネルギー庁、NEDO）において重点的に取り組むべき分野として特定した「重要技術」を中心に、2040年度に高い省エネルギー効果が見込まれる技術開発を支援し、省エネルギー型経済社会の構築及び産業競争力の強化をめざすプログラムです。

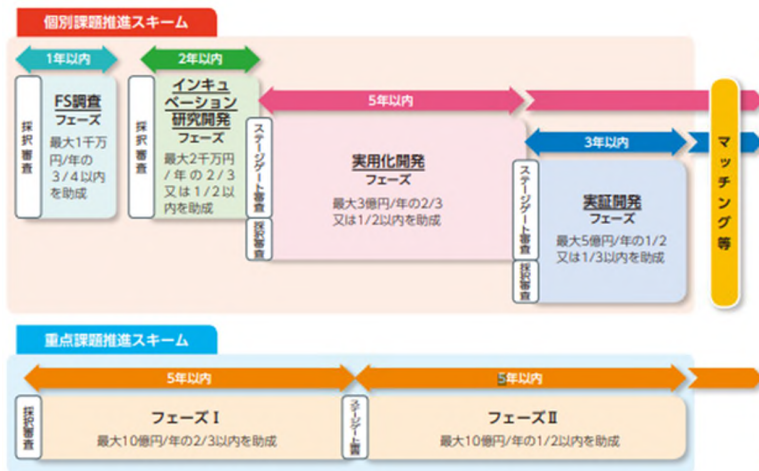
対象者	企業・大学等（企業必須、大学単独の提案は不可）				
技術開発フェーズ ※①	個別課題推進スキーム				重点課題推進スキーム
	FS調査	インキュベーション研究開発	実用化開発	実証開発	2社以上の企業参画必須 成果の普及を促す組織、団体等の参画必須
	シーズの事業性検討、開発シナリオ策定や省エネルギー効果の検討等を行うための事前調査。	技術シーズを活用し、開発・導入シナリオの策定等を行う。実用化開発・実証開発の事前研究。	保有している技術・ノウハウ等をベースとした応用技術開発。本開発終了後3年以内に製品化を目指す。	実証データを取得するなど、事業化を阻害している要因を克服し、本開発終了後2年以内に製品化を目指す。	業界の共通課題及び異業種が連携・協力して取り組むべきテーマを設定し、横断的に課題解決を目指す。
事業形態 助成率※②	助成 NEDO助成率 3/4以内	助成 NEDO助成率 2/3又は1/2以内	助成 NEDO助成率 2/3又は1/2以内	助成 NEDO助成率 1/2又は1/3以内	助成 NEDO助成率 フェーズⅠ：2/3以内 フェーズⅡ：1/2以内
技術開発費 上限※③	1千万円/年	2千万円/年	3億円/年	5億円/年	10億円/年
事業期間	1年以内	2年以内	5年以内	3年以内	各フェーズ：5年以内
対象テーマ	「省エネ法」で定められたエネルギー（燃料、熱、電気）の使用量削減に繋がる技術開発・調査				

- ※①：個別課題推進スキームにおいては、インキュベーション研究開発フェーズ、実用化開発フェーズ、実証開発フェーズを、重点課題推進スキームにおいては、フェーズⅠ、フェーズⅡを組み合わせでご応募が可能。次のフェーズに進む際は「ステージゲート審査」を行う。
- ※②：学術機関等と共同研究を実施する場合、当該共同研究費については助成率を乗じない定額助成となります。ただし、上限があります。詳細は公募要領をご確認ください。
- ※③：技術開発費上限 = NEDO負担額 + 実施者負担額 消費税抜きの金額をNEDOが助成します。

(参考) 予算額と公募情報

2021年度	予算：87.0億円	公募(3/29～5/13)：採択20件/応募46件 (2.3倍)
2022年度	予算：71.6億円	2022/2/3～2022/3/14：採択17件/応募38件 (2.2倍) 2022/7/25～2022/8/24：採択9件/応募18件 (2.0倍)
2023年度	予算：65.0億円	2023/2/2～2023/3/13：採択21件/応募38件 (1.8倍) 2023/7/10～2023/8/24 公募終了

(参考) スキーム概要



応募から助成金交付決定まで

以下は例年の参考スケジュールであり、最新の公募スケジュールについてはNEDOウェブサイト、Twitterからご確認ください。



<公募に関する問い合わせ>

公募の手続に関する質問の他、提案を予定されている技術開発内容が本事業の趣旨に合致するか等の相談を、下記メールアドレスで受け付けます（日本語のみ）。また、オンライン等による相談も可能です。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 省エネルギー部
 担当者：「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム」事務局
 E-MAIL: shouene@nedo.go.jp

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100197.html

● 事業ページ



社会ニーズ・政策課題に基づく研究開発課題解決にチャレンジするスタートアップを支援

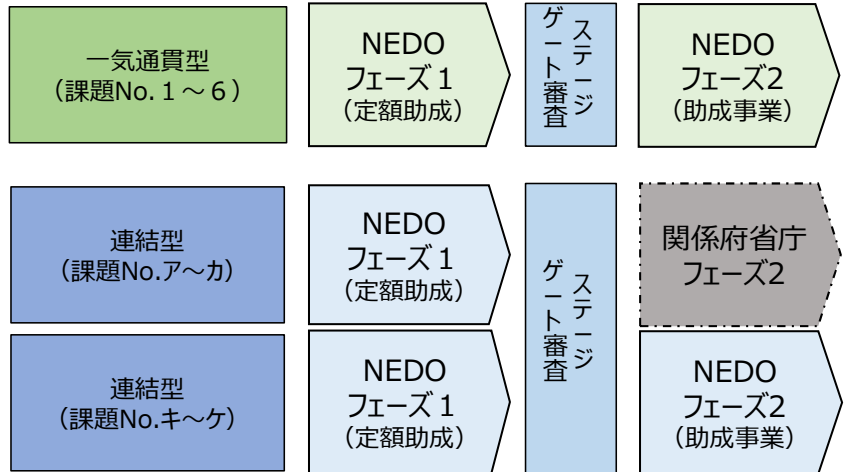
SBIR推進プログラム (Small Business Innovation Research)

政府機関により決定された研究開発課題に取り組む研究開発型スタートアップ等が実施する研究開発の促進及び成果の円滑な社会実装を目指します (内閣府を司令塔として省庁横断的に実施する制度)
本事業を含む指定補助金等では、このうちフェーズ1及びフェーズ2を実施します。

フェーズ	フェーズ1 概念実証PoC/実現可能性調査 (FS)支援		フェーズ2 フェーズ1を前提とした実用化開発支援	
型	一気通貫型	連結型(NEDOで実施の場合)	一気通貫型	連結型 (NEDOで実施の場合)
対象者	研究開発課題に対して、解決に資する技術シーズを有しているスタートアップ等		研究開発課題に対して、概念実証や実現可能性調査を完了しているスタートアップ等	
事業形態	定額助成 (NEDO負担率: 100%)		助成 (NEDO負担率2/3)	
上限額	2.0千万円/事業期間	1.5千万円/事業期間	1億円/事業期間	5千万円/事業期間
事業期間	原則として1年以内		原則として2年以内	

制度の実施方式

本事業は、国の設定する課題 (調達ニーズ、社会課題) の解決に資する技術を革新的な技術の概念実証や実現可能性調査を支援するとともに (フェーズ1)、フェーズ1で得られた成果等を前提として当該者が実用化に向けて取り組む研究開発を支援します (フェーズ2)



内閣府 SBIR制度概要

<https://sbir.csti-startup-policy.go.jp/about/develop.html>

NEDO SBIR制度 プロジェクト概要

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100205.html

2023年度 一気通貫型 公募情報

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100402.html

2023年度 連結型 公募情報

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100412.html

(参考) 公募情報

2021年度	公募: (8/16~9/17) 採択14件/応募40件 (2.85倍)
2022年度	第1回: (5/26~6/27) 採択7件/応募20件 (2.86倍) 福祉課題 採択3件/応募12件 (4倍) 第2回: (6/28~7/29) 採択2件/応募7件 (3.5倍) (7/4~8/5) 福祉課題 採択1件/応募9件 (9倍)
2023年度	一気通貫型: 2023/3/31~5/10 採択19件/応募41件 (2.15倍) 連結型: 2023/6/30~7/31 採択8件/応募10件 (1.25倍)

2023年度 研究開発課題一覧

一気通貫型				
NO.	ニーズ元	実施機関		研究開発課題
		フェーズ1	フェーズ2	
1.	経産省	NEDO	NEDO	鉄スクラップに混入した不純物の検知・特定・定量化・除去等に関する技術の開発
2.	経産省	NEDO	NEDO	民間宇宙活動で推進する産業発展及び国際競争力強化に資する技術開発
3.	経産省	NEDO	NEDO	高齢者の自立支援や介護者の負担軽減等に資する福祉機器の開発
4.	経産省	NEDO	NEDO	航空機の脱炭素化に資する運航ルート最適化技術
5.	経産省	NEDO	NEDO	CO2 排出量を削減する次世代の高効率物流を実現するドローン技術の開発
6.	経産省	NEDO	NEDO	プラント・建設物等の屋内点検の省人化・高精度化を実現する技術の開発
連結型				
NO.	ニーズ元	実施機関		研究開発課題
		フェーズ1	フェーズ2	
ア.	厚労省	NEDO	厚労省	多様化する障害者を踏まえた汎用性のある自立支援機器の開発
イ.	農水省	NEDO	BRAIN	食品産業の生産力強化に資するスマート研究開発
ウ.	国交省	NEDO	国交省	海の次世代モビリティによる沿岸・離島地域の課題解決
エ.	国交省	NEDO	国交省	造船所の生産性向上に関する研究開発
オ.	国交省	NEDO	国交省	IoT等の活用による内航近代化に係る研究開発
カ.	経産省・農水省	NEDO	BRAIN	加工食品の輸出促進のための賞味期限延長等の技術の開発
キ.	法務省	NEDO	NEDO	現実空間と同等程度の技術習得が可能な仮想空間における職業訓練を実現するための研究開発
ク.	警察庁	NEDO	NEDO	高機能防弾衣・防護衣の開発
ケ.	警察庁	NEDO	NEDO	移動中の車両等に搭載する衛星通信用アンテナの開発

ディープテック・スタートアップ支援基金／国際共同研究開発

(対象国：カナダ、チェコ共和国、フランス共和国、スペイン王国、オランダ王国、シンガポール共和国、英国)

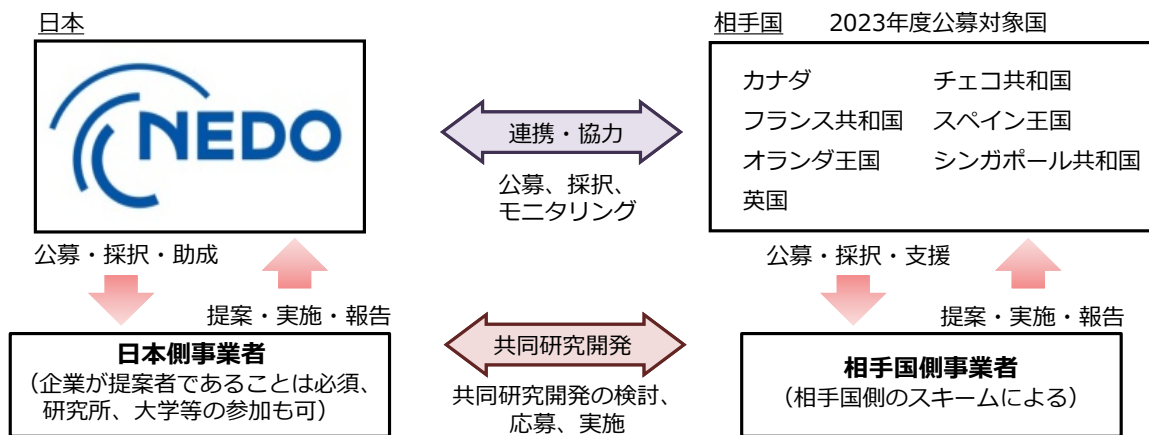
海外市場への展開と早期の技術普及を目的として、海外の事業者との共同研究開発を希望するディープテック・スタートアップに対し、当該国際共同研究開発を支援

事業内容	ディープテック・スタートアップが海外企業と行う共同研究開発に対し、NEDOと相手国側の研究開発・イノベーション支援機関（公的支援機関）が並行して、それぞれ自国企業の研究開発費用の一部を助成します。（相手国側企業も当該国の公的支援機関の公募に応募する必要があります。）
対象者	①日本国内に主要な研究開発拠点を有する未上場の日本の中小企業、又は、当該企業を代表とし、その他の企業、研究機関、大学等が参加した日本側事業者であること。 ②相手国側企業等と国際共同研究開発プロジェクトを実施する見込みであって、当該企業等と共同研究契約（以下「CA（Consortium Agreement）」）を締結することができること。
対象技術	量子、AI、ロボティクス、半導体、電子機器、エネルギー・環境、バイオテクノロジー、新素材、医療機器、航空宇宙等の鉱工業技術とする。 ※原子力、医薬品及び再生医療等製品を除く。
対象国	2023年度の対象国は以下の7か国です。 カナダ、チェコ共和国、フランス共和国、スペイン王国、オランダ王国、シンガポール共和国、英国 （国名は英語表記のアルファベット順）
助成対象期間	交付決定通知書に記載する事業開始日から原則2～4年
補助率	助成対象費用の3分の2以内
助成金の額	助成金額の上限は1億円/件
公募受付期間	2023年10月23日～2024年1月31日
本公募についてのお知らせ	公募ページ https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100217.html 公募説明会を開催しますので公募ページからお申し込みください。 第1回：11月02日（木）14時～15時 申し込み期限：10月31日（火）正午 第2回：11月15日（水）14時～15時 申し込み期限：11月13日（月）正午

事業スキーム

2023年度の公募は、欧州を中心とする各国の研究開発・イノベーション支援機関等の国際的なネットワークであるEUREKA^(※1)のGlobalstars^(※2)スキームを活用した多国間共同公募方式により実施します。

【EUREKA Globalstars】（多国間共同公募方式）



(※1) Eureka (<https://www.Eurekanetwork.org/>) とは、1985年に発足した欧州を中心とする各国の研究開発・イノベーション支援機関の国際的なネットワークです。45か国以上が加盟しています。

(※2) Eureka Globalstars (<https://www.eurekanetwork.org/countries/spain/globalstars/>) とは、Eureka加盟国以外の国（日本など）が、複数のEureka加盟国との共同公募を実施することができるEurekaの公募スキームの一つです。

お問い合わせ

本公募に関するお問い合わせは、2024年1月24日（水）まで、下記宛て電子メールで受け付けます。

国際部 ディープテックコファンドグループ

メールアドレス：dt.cofund@ml.nedo.go.jp

イノベーション推進部のその他事業

■ マッチング支援事業

金融マッチング/NEDOプライベートピッチ 問い合わせ先：イノベーション推進部 inv-privatepitch@nedo.go.jp ……P.19

Silicon Valley Immersion Program 問い合わせ先：イノベーション推進部 immersion-pi@nedo.go.jp

Kawasaki-NEDO Innovation Center 問い合わせ先：K-NIC TEL:044-201-7020 ……P.20

ビジネスマッチング 問い合わせ先：イノベーション推進部 TEL：044-520-5175

■ その他の取り組み

 オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会 ……P.21

政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップ窓口（Plus One） ……P.22

NEDO公募情報の確認方法、e-Radへの事前登録について ……P.23

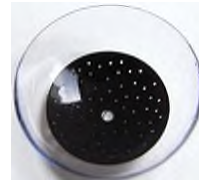
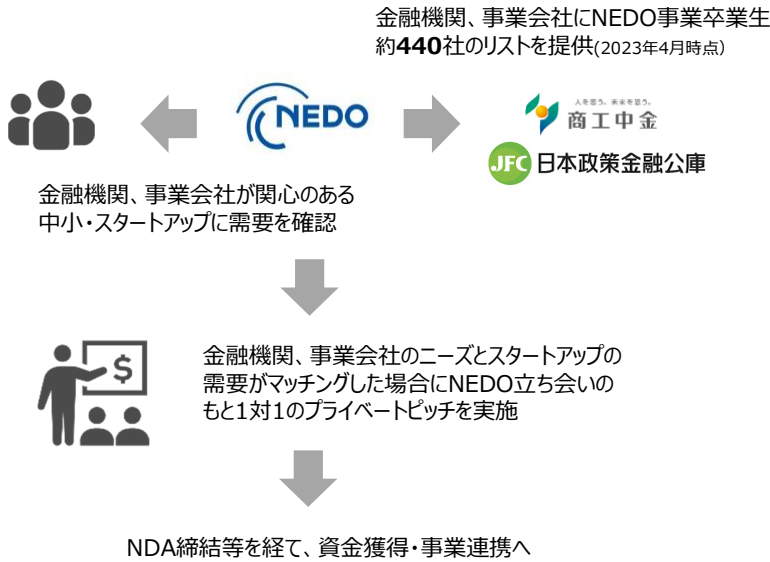
NEDO 2023年テーマ公募予定事業一覧 ……P.24、25

金融機関、事業会社へNEDO卒業生を推薦し、出資や連携につなげ事業化を後押し
金融マッチング/事業会社とのNEDOプライベートピッチ

- ・NEDO事業を終了した中小企業、スタートアップの事業化支援の一環として、金融機関や事業会社（JOIC会員限定）との仲立ちを行います
- ・金融機関又は事業会社とNEDO卒業生の1対1のプライベートピッチを随時実施いたします

プライベートピッチ実施までのイメージ

(参考) 事業化、製品化のイメージ



事例1：株式会社ユニバーサルビュー
ピンホールコンタクトレンズの商品イメージ



事例2：Kyoto Robotics株式会社
TVS3.0のビジョンヘッドの写真例

お問い合わせ先：inv-privatepitch@nedo.go.jp

海外展開を目指す技術系スタートアップ支援プログラム

Silicon Valley / Paris Immersion Program

世界で勝負する起業家が世界中から集まり、またそれを支える非常に厚いエコシステムが存在するシリコンバレー/パリにおいて、そのインナーサークルと連携しながら、世界に羽ばたこうとしている日本の起業家の方々をご支援し、世界に通用するビジネスを生み出していきたいというのが本プログラムの狙いです。

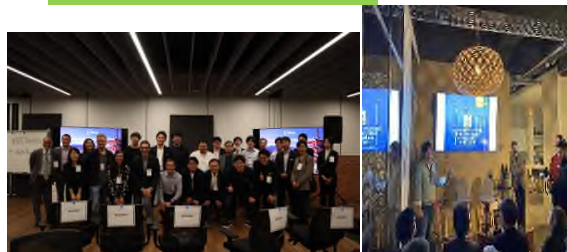
1.プログラム内容 (過去の例)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内研修 (約4日間): Web上とNEDO本部にて海外展開のためのビジネスモデルとピッチ研修 ・シリコンバレー/パリ研修 (約1週間): 企業訪問、投資家との面談、ビジネスエキスパートによるメンタリング、ピッチイベント (現地投資家/大企業/スタートアップ等)にてピッチ登壇など
2.支援対象	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・エネルギー、電子・情報通信、IoT、バイオ・ヘルスケア、医療機器、機械システム、航空宇宙、ロボット、材料・ナノテクノロジー等「技術」を開発するNEDO事業に採択されたスタートアップ
3.支援要件	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルに事業展開を目指している技術系スタートアップであること ・英語でのプレゼンテーション、コミュニケーションが可能であること(※NEDO/講師の事前面談実施) ・NEDOの設定する国内研修及び現地研修に原則として全日参加できること ・反社会的勢力またはそれに関わる者との関与がないこと (※事前面談の結果によりSUの審査・選定)
4.過去のプログラム実績	2015年度 (14社) / 2016年度 (開催なし) / 2017年度 (6社) / 2018年 第1回 (6社) 第2回 (6社) 2019年度 (7社) / 2020年度 (6社:オンライン開催) / 2021年度 (コロナにより中止) 2022年度 第1回 (8社) 第2回 (7社)

- SVIP2023採択者: Algal Bio/Epsilon Molecular Engineering/Provigate/MaRI/Closer/Chinoujijutsu/Elephantech/Thermalytica(8社)
- PIP2023採択者: Elephantech/Thermalytica/One Act/MORPHEUS/PuREC /AI SILK (7社)

Bootcamp (川崎)



Pitch Night



【NEDOシリコンバレー事務所】<https://www.nedosvo.org/sv-immersion-program>
 【NEDOパリ事務所】https://www.nedo.go.jp/english/introducing/paris_index.html

イノベーションを創出する起業家支援拠点

Kawasaki-NEDO Innovation Center (K-NIC)

K-NICは、NEDO、川崎市、公益財団法人川崎市産業振興財団の三者連携により、研究開発型スタートアップと起業家の発掘から支援までをワンストップで行う起業家支援拠点です。



成長分野における独自技術の事業化を目指す起業家、新分野に進出するスタートアップを対象に、各分野の専門家によるアドバイスをはじめ、投資家向けのピッチイベントやメンバー会員同士の交流会などさまざまな支援メニューを実施します。

- 場所：
〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー5階
(※JR川崎駅西口からペDESTリアンデッキで直結)
- TEL：044-201-7020
- 営業時間：10時～18時（最終受付17時）
- 休業日：土曜/日曜/祝日、年末年始（12/29-1/4）ビル休館日
※ただし、土日祝にイベントが開催される場合有り
※臨時休業日等は、公式サイト「NEWS」に掲載

1. K-NICのお勧めプログラム

①「K-NIC ハンズオン支援プログラム」(11月23日締切)

● 2023年度下期募集中 <https://www.k-nic.jp/program/6480/>
NEDOスタートアップ支援事業(助成金)の応募を検討中の方は、特にお勧めのプログラムです。K-NIC登録のNEDO認定カライザー/審査員等、NEDO事業を良くご存じの方からご指導頂けます（無料）

②「K-NIC 個別相談会」

<https://www.k-nic.jp/consultation/>
起業やビジネスを進める上でのお困りことを解決するために、専門家が1時間みなさまのお悩みをお聞きし、的確なアドバイスをさせていただきます。

2. 起業に役立つイベント！

<https://www.k-nic.jp/event/>

- ・資金調達・資金政策を学べるセミナー
- ・人材採用セミナー
- ・組織作りに関するセミナー

などなど、数多くのセミナーを開催しております！
全て無料ですのでお気軽にご参加ください！

- 会員登録するとメルマガで、最新の「NEDOの公募情報等」が届きます（月3回）

会員募集中！

起業したい方
お待ちしております！

マッチング会を開催し、商談の機会を提供

ビジネスマッチング

イノベーション・ジャパン2022～ビジネスマッチング

2022.10.4-10.31（開催終了）

NEDOの支援先企業の研究開発成果の事業化を促進するため、ビジネスマッチング、成果を活用した製品開発・技術開発、成果物の販売、サンプル提供、技術提携等、幅広く企業等（ユーザー）との“マッチングの場”となることを目的とし、よりすぐりの技術を掲載。

第10回ILS (Innovation Leaders Summit) パワーマッチング

2022.11.29-12/2 リアルイベント+オンライン商談（開催終了）

対面商談 11/29(火) -12/2(金) @虎ノ門ヒルズ

オンライン商談 11/21(月) - 25(金)、12/5(月) -16(金) @ ILS プラットフォーム

大手企業100社以上と、VCなどが推薦する優良なスタートアップ600社以上が参加。
NEDOが推薦するスタートアップ企業も多数参加。事前予約性のクローズドな場での商談が行われる質の高いマッチングイベント。



NEDOベンチャービジネスマッチング会

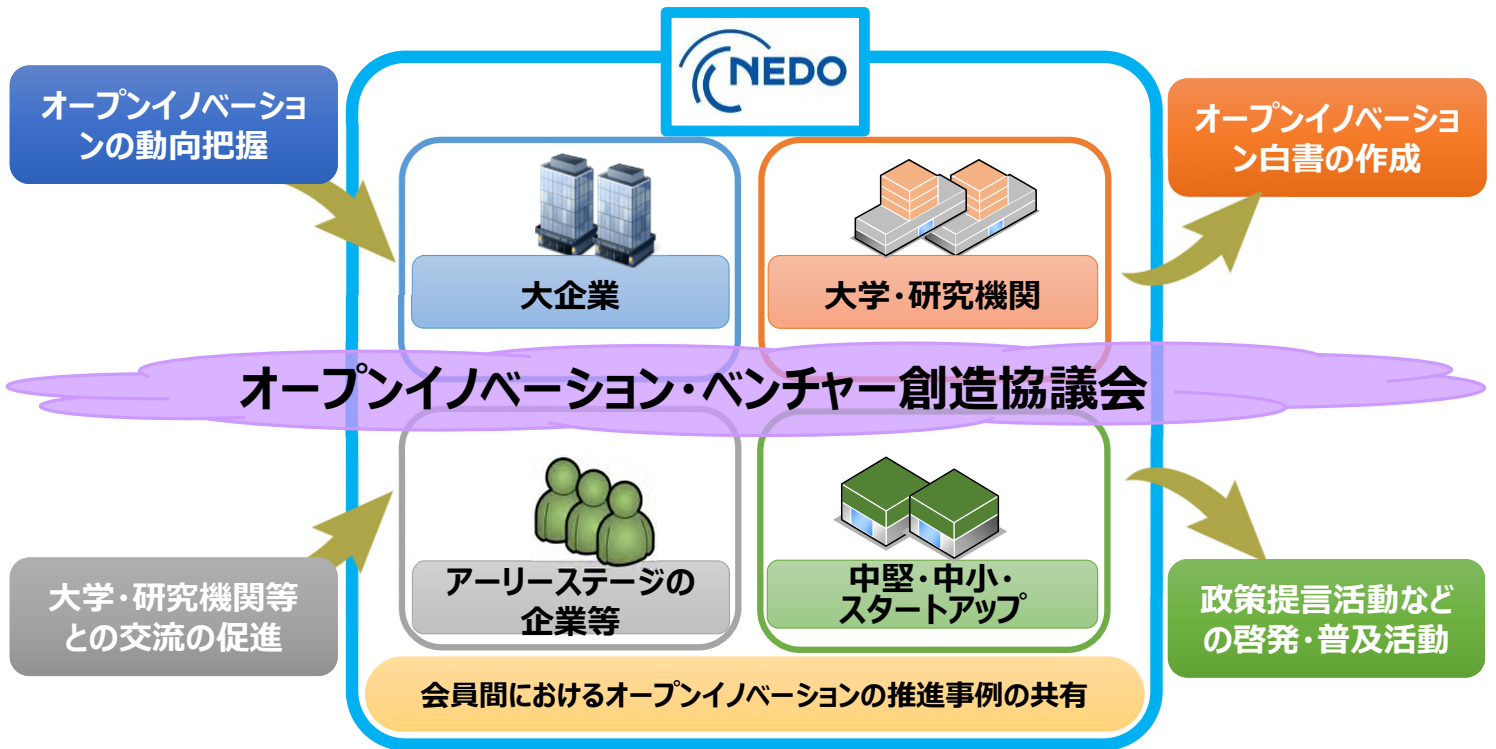
2022.12.22 オンライン（開催終了）

本マッチング会では、「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」で再生可能エネルギーに関する研究開発に取り組んだ、実力派中小・ベンチャー企業が一堂に会し、開発技術をプレゼンテーションする他、開発内容に興味を持った企業等との個別商談をオンラインで実施。



- ・民間事業者の「オープンイノベーション」の取組を推進するとともに、「ベンチャー宣言」を実現することにより、我が国産業のイノベーションの創出及び競争力の強化に寄与することを目的として設立。
- ・NEDOイノベーション推進部が事務局を務め、事務局長はNEDO副理事長が担当する。

■設立:2017年3月1日 ■会員数1,941社<内訳:企業会員1,181社、大学等の賛助会員760 (2023年10月1日現在) >



2022年度 活動実績 https://www.joic.jp/nedo_pitch_sub/Try-nedopitch.html

2023年度 JOICイベント年間計画

- ・ 9/ 5 (火) 第51回NEDOピッチ (ADX×医療/ヘルステック ver.)
- ・ 9/25 (月) ディープテックスタートアップピッチ ~女性起業家特集~
- ・ 10/20 (金) パネルディスカッション (ディープテック・スタートアップとの連携 (仮))
- ・ 11/21 (火) 第52回NEDOピッチ (AIスマートシティ ver.)
- ・ 12/21 (木) 第22回ワークショップ (連携の際に発生する問題点 (仮))
- ・ 1/23 (火) SMBCとの連携ピッチ (テーマは宇宙)
- ・ 2/22 (木) ディープテックスタートアップピッチ ~女性起業家特集~2回目

オープンイノベーション白書 第三版の発行

「オープンイノベーションを理解するためにイノベーションを正しく理解する」という観点からイノベーションの本質に立ち返り整理を進めました。マクロ・ミクロの視点でイノベーションの歴史を整理し、世界や日本の市況から要因を分析することで、日本においてもイノベーションを創出しやすくする方策を検討し、未来への提言を示しました。令和2年5月29日に第三版を発行しました。

<NEDO及びJOICのHPにてPDFファイルを掲中>

https://www.joic.jp/joic_members/open_innovation_hakusyo



NEDOチャンネル (You Tube)

NEDOホームページで「刊行物・資料」の NEDO Channel をクリック
各登壇ベンチャーのプレゼンの様子を公開中。(第16回から)

<https://www.youtube.com/channel/UCd4OTUB8A9PIdNs-vxF5t8g>



政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップサービス機能強化

スタートアップ支援を行う16機関でMOUを締結し、スタートアップ支援機関プラットフォームを創設

(通称 Plus (プラス) “Platform for unified support for startups”)。今後は、スタートアップ・エコシステム拠点都市とも連携しながら、当該協定を中心とした支援機関連携の拡大（政府系機関、金融機関、ベンチャーキャピタル等）や、個別機関間の取組の深化を通じて、スタートアップ・エコシステムの形成を目指す。

従来のスタートアップ支援の課題

- 各機関がバラバラに支援メニューを出している
⇒ スタートアップにおける情報収集コストが高い
- 支援機関間で情報共有・政策連携が不十分
⇒ 質の高いスタートアップに対して集中支援が行われない

具体的な取組内容

【取組1】 支援情報の共有・整理・発信

定例会の実施、支援施策の一元的な情報発信、ワンストップ窓口を設置

【取組2】 個別事業の相互連携の促進

参加機関間の支援メニューを連携させて、支援の幅を拡大

支援機関の特性に応じて一貫通貫の支援を実施



新規参加機関（7機関）

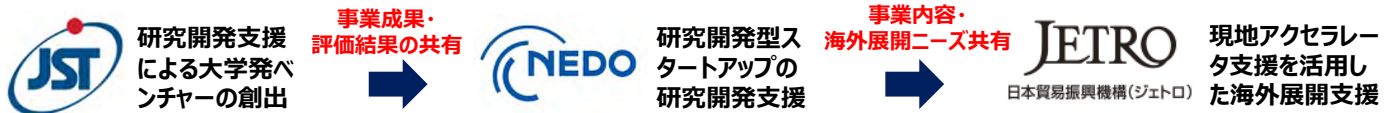
金融支援・投資

JFC 日本政策金融公庫
地域経済活性化支援機構

知財支援



一貫通貫した支援の例



政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップサービス機能強化

～政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップ窓口 “Plus One” ～

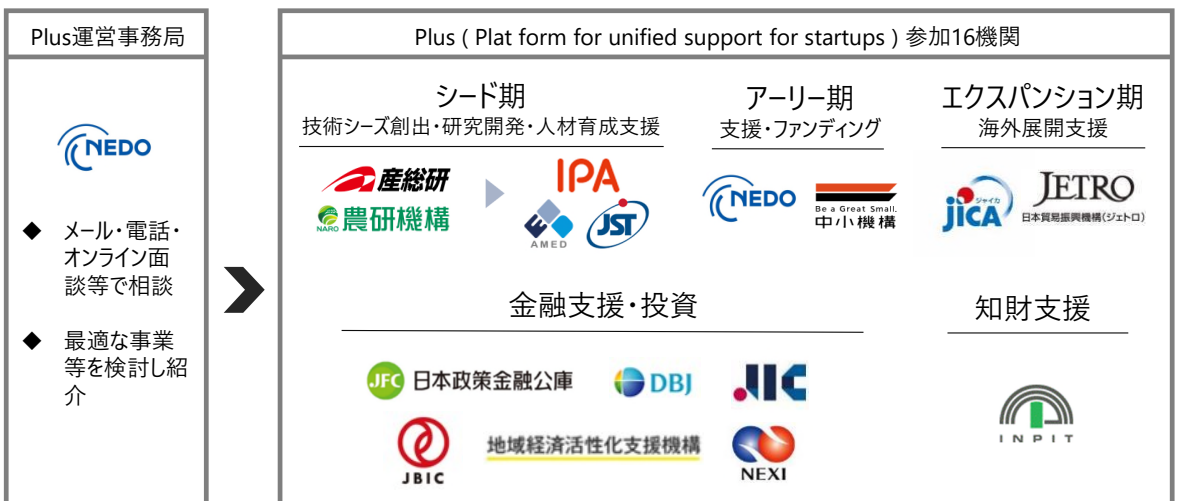
- ✓ Plusでの16機関間連携を活用し、一元的な相談体制を構築
- ✓ スタートアップに、支援機関から“プラスワン”な情報提供
- ✓ 受けたい支援タイプ（資金提供、投資、融資、知財海外展開等）のタイプ別検索が可能

政府系の支援を受けたいけど、誰に相談したらいいかわからない



Plus One 問い合わせフォーム*に 入力

いろんな事業があって、どれを選んだらいいかわからない



- ・ Plus参加16機関の支援メニューから最適なものをご紹介
- ・ 民間企業も含めた他機関とも必要に応じて連携・紹介

Plus Oneへのお問い合わせはこちら

※NEDOのスタートアップ向けHP StarTips from NEDO内にお問い合わせフォームがあります

Plus スタートアップ

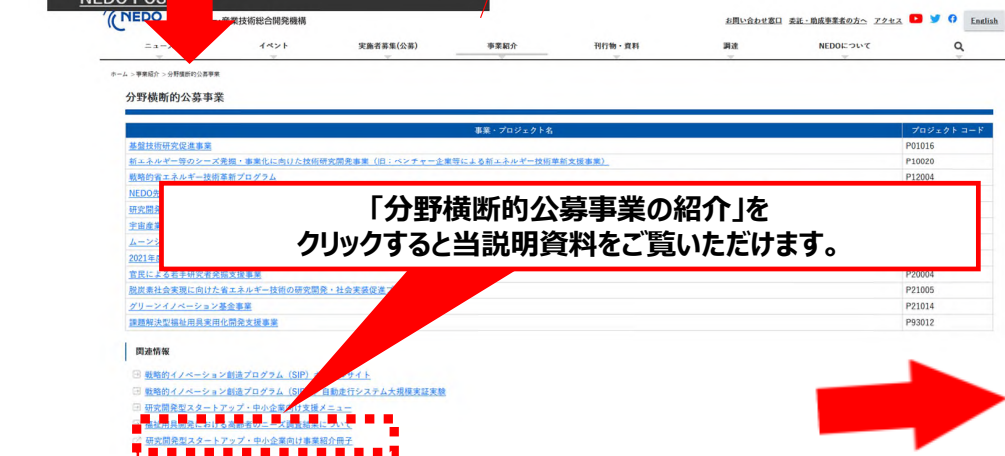


<https://app23.infoc.nedo.go.jp/qa/enquetes/bg4bpyn8qh71>

NEDOホームページ「事業紹介」タブの“分野横断的公募事業”-“関連情報”より毎月更新される当PDF資料をダウンロードいただけます。



NEDOトップページ中央上の「事業紹介」タブから 事業一覧（分野別）「分野横断的公募事業」をクリック。

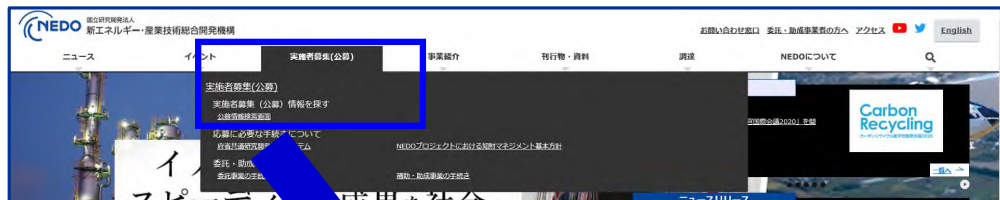


「分野横断的公募事業の紹介」をクリックすると当説明資料をご覧ください。

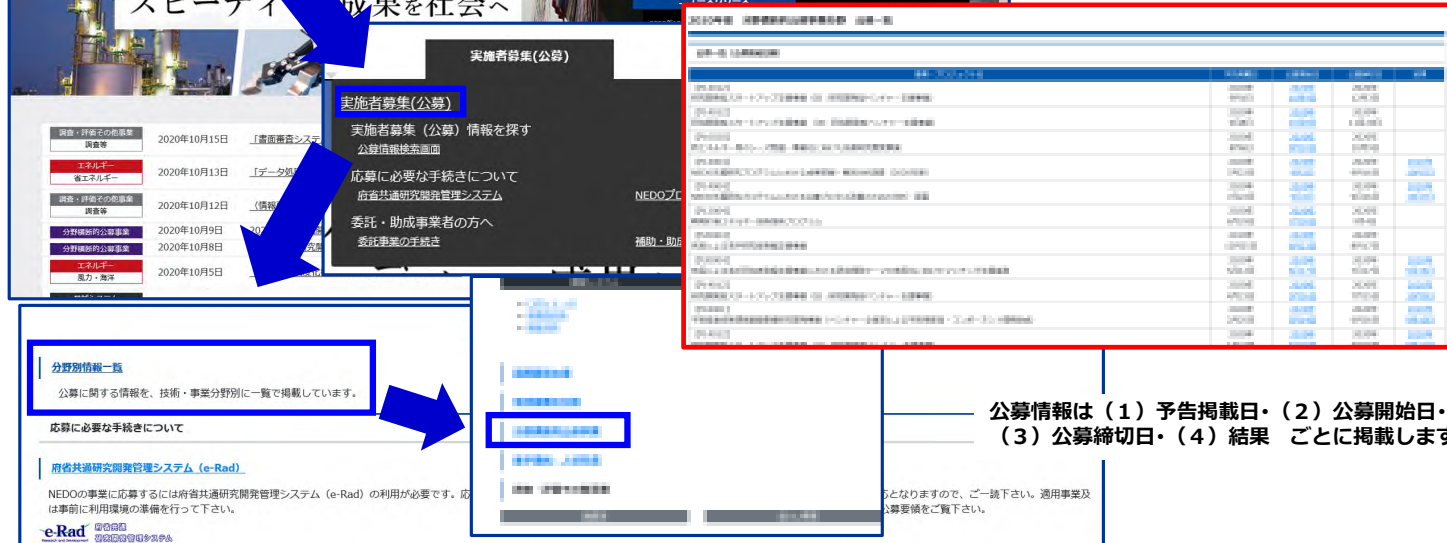


<https://startips.nedo.go.jp/Portals/0/document/plusone/NEDO.pdf>

NEDOトップページ「実施者募集（公募）」タブから、最新の公募情報（基本計画・実施方針・公募要領）一覧をご確認いただけます。



NEDOトップページ上部の「実施者募集（公募）」をクリック！
 → 「分野別情報一覧」
 → 「分野横断的公募事業」
 → 「公募一覧」



公募情報は（1）予告掲載日・（2）公募開始日・（3）公募締切日・（4）結果 ごとに掲載します。

NEDOの公式Twitterにご登録いただきますと、ウェブサイトに掲載された最新の公募情報に関するお知らせを、随時Twitterにてお送りいたします。



行政運営の効率化を目的とした「電子政府構築計画」に基づき、NEDOの事業※への申請（応募）に当たっては、事前に府省共通研究開発管理システム（e-Rad）に登録を行い、e-RadへのログインIDとパスワードの取得をした上で、電子申請をしていただくことが必須となります。

※ 対象事業については、各事業の公募予告ページにその旨記載しますので御確認下さい。

中小企業・スタートアップ向けポータルサイト

Contents

- NEDOの**事業公募・支援情報**
- **ワンストップ相談窓口「Plus One」**
- **事業の成果・マッチング関連情報**
- **実用化ドキュメントなどの記事・動画**

StarT!Ps
from NEDO



「StarT!Ps from NEDO」アクセス方法

<https://startips.nedo.go.jp/>



人、制度が寄り添う支援を目指して

NEDOは、皆様の優れたアイデア・技術を活かして、
ともに日本の未来を創るイノベーションを起こしたいと考えております。

ぜひNEDOのテーマ公募事業にご応募ください。

NEDOは、産学官一体で産業技術力の強化とエネルギー・地球環境問題の解決を目指しています。

NEDOは、全国の民間企業、大学及び公的研究機関等の持つ様々な技術シーズや技術開発能力を活用し、事業化に結び付けることが、世界における日本の競争力強化の鍵だと考えています。

NEDOは、産業技術分野、エネルギー・地球環境分野において、創造的で独創的な研究開発に取り組む方々のために、シーズ発掘から実用化まで様々なフェーズで幅広い支援を行っています。また、各種マッチングイベントにもご参加いただけます。

皆様のご提案からイノベーションを起こすためにも、ぜひ積極的にご応募ください。

NEDO公募事業についてのご質問やご意見はNEDOテーマ公募事業担当がしっかり対応いたしますので、お気軽にお問合せください。

NEDOテーマ公募事業担当 一同

本部：〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番ミュージアム川崎セントラルタワー（総合受付16F）

- イノベーション推進部 TEL：044-520-5170
- 新領域・ムーンショット部 TEL：044-520-5245
- 国際部 TEL：044-520-5190
- 省エネルギー部 TEL：044-520-5180

関西支部：〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 ナレッジキャピタル タワーC 9F
TEL：06-4965-2130 FAX：06-4965-2131

<当資料に関するお問い合わせ先>

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

イノベーション推進部 総括グループ TEL：044-520-5170 E-mail：inv-caravan@nedo.go.jp

【お断り】当資料は2023年10月30日時点の資料です。諸事情等により記載内容に変更が生じる可能性があります。